

令和5年度 神奈川県教科書用図書選定審議会（第2回）

〈審議概要〉

【司会（水沢指導主事）】

皆様、こんにちは。本日は、御多用の中、御出席いただきましてありがとうございます。

それでは定刻になりましたので、只今より、令和5年度第2回神奈川県教科書用図書選定審議会を開会いたします。

まず始めに、神奈川県教育委員会教育局支援部長 古島より 御挨拶申し上げます。

【古島支援部長】

皆さん、おはようございます。御多用の中、お集まりくださりまして、本当にありがとうございます。

第1回に引き続きまして、今回第2回ということで、前回、御審議いただきました諮問事項の(1)から(6)につきましては、4月の教育委員会で、付議をしまして承認されました。

市町村教育委員会並びに国立、私立学校等、採択権者に諮問事項の結果をお送りしたところがございます。

また、現在、県内の各市町村教育委員会等で、教科書の採択事務が進められております。

本日は、4月の第1回選定審議会で諮問させていただきました、諮問事項(7)「令和6年度使用小学校、義務教育学校の前期課程教科書用図書選定に係る調査研究資料について」、このことについて、種目ごとに専門調査員からの提案について御審議いただきます。13種目ございまして、本日は1日日程になっております。

本日はこの会議室にて審議をしていただきます。暑い寒い等ありましたら、すぐ言っていただければ、できる限り対応させていただきます。

まず、御机上にございます調査研究資料、これについては「義務教育諸学校の教科書用図書の無償措置に関する法律」第10条に基づき、県教育委員会が市町村教育委員会及び義務教育諸学校の校長の行う採択についての指導、助言の1つでございます。教科書採択の際の「基礎的な資料」としていただくものでございます。

今、皆様の御机上にございますのが、令和6年度から小学校、義務教育学校の前期課程で使用する教科書の見本でございます。このすべての教科書について、県内各地域から選出されました63名の専門調査員によって、4回調査員会を開いて、その間もメール等でやり取りをして、昨日までの中で仕上げてきたものでございます。

本日、御審議いただきまして、決定しました「答申」については、今後、6月13日（火）に行われます県の教育委員会6月定例会に付議し、議決をいただきましたら、市町村教育委員会等へ資料の送付をする予定となっております。

本日、委員の皆様に見ていただきますこの「調査研究」は、市町村教育委員会等における採択

事務の重要な資料になります。皆様の慎重、かつ活発な御審議をお願いいたしまして、御挨拶といたします。

新たに二次元コード等も、本日見ていただくように設定しております。本日はどうぞよろしくをお願いいたします。

【司会（水沢指導主事）】

次に、審議会会長から御挨拶をいただきます。浄泉会長、よろしくをお願いいたします。

【会長（浄泉会長）】

皆様おはようございます。本日は御多用の中、御出席をいただきまして誠にありがとうございます。

まず本審議会の準備等で、本当に神奈川県教育委員会教育局の古島支援部長様をはじめ、事務局の皆様、本当に大変だったと思います。そういった中、準備を進めていただきまして、誠にありがとうございます。

また、専門調査員の方について、本来業務の合間に調査研究の方を進めていただきました。そういった面で、心からお礼を申し上げたいと思っております。

まず、県から送られてくるこの調査研究の結果ですが、実はこれは各市町村においても教科書の採択事務を進めていく中で、貴重な、とても参考になる資料です。そういった意味では、私たち自身もそういった意義、それから成果、こういったものを十分踏まえた上で、この審議会でも本当に慎重に臨まなければならないというふうに思っております。

ぜひ、今日はですね、皆様方の慎重なる御質問、御意見等もいただきながら、ぜひ有意義な会議にしていきたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

【司会（水沢指導主事）】

ありがとうございました。

本日、安田委員、菅原委員から欠席の連絡をいただいております。

また、岡崎恵子委員より、午前中のみ参加であることを連絡いただいておりますので、御報告させていただきます。

ここで資料の確認をさせていただきます。委員の皆様には、お手元にお配りしてございます資料を、御確認くださるようお願いいたします。

本日お配りしてございますのは、1点目、本日の会議の「次第」と「委員名簿」、2点目、「第1回教科用図書選定審議会以降の経過報告」、3点目、小学校、義務教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果(令和6・7・8・9年度用)」（案）の3点でございます。

資料に不備がございましたら、事務局にお伝えください。

それでは、まず議事に入る前に、「第1回教科用図書選定審議会以降の経過報告」を事務局から御説明いたします。

【事務局（山田指導主事）】

事務局の山田と申します。どうぞよろしくお願ひします。

では、お配りしております、神奈川県教科用図書選定審議会（第1回）以降の経過報告と書いてある資料を御覧ください。

先ほど、支援部長の古島からも話がありましたように、前回4月7日（金）に御審議いただいた諮問事項(1)から(6)につきまして、4月10日（月）付けで答申をいただきました。

4月13日（木）の教育委員会4月定例会において採択方針が決定され、県内市町村教育委員会をはじめ、関係各機関へ発出をいたしました。

次に、今回の調査研究結果の資料の作成にあたり、5月2日（火）に第1回の専門調査委員会を開催いたしました。

各地区から推薦を受けた専門調査員が集まり、第1回選定審議会にて御審議いただきました「令和6年度使用小学校、義務教育学校の前期課程教科用図書調査研究の観点」と照らし合わせながら、今、皆様のお近くにございます教科書を読み込み、これまでの間に、計4回の専門調査委員会で調査研究と協議を重ね、こちらの今、皆様の机上にあります、調査研究の結果資料としてまとめております。

本日の第2回選定審議会では、7番目の諮問事項、「令和6年度使用小学校、義務教育学校の前期課程教科用図書調査研究資料について」御審議のうえ、答申をいただきます。その後、いただいた答申を踏まえまして、6月の教育委員会定例会へ付議をいたします。経過報告は以上です。

【司会（水沢指導主事）】

只今の「経過報告」について、御質問等がございますか。よろしいでしょうか。

それでは、これより議事に入りますが、進行については浄泉会長にお願いいたします。

浄泉会長、よろしくお願ひいたします。

【浄泉会長】

それでは、私の方で議事を進めさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

第1回の教科用図書選定審議会以降の経過につきましては、今、事務局から報告がありましたが、委員の皆様方には御了解をいただいたということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

では、諮問事項の(7)「令和6年度使用小学校、義務教育学校の前期課程教科用図書の選定に係る調査研究資料について」、進めてまいりたいと思います。

はじめに、資料の構成等について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

では、よろしくお願ひいたします。

お配りをしております、小学校、義務教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和6・7・8・9年度用）」（案）を御覧ください。

まず、表紙の裏が目次になっております。上段の囲みの中には、この調査研究の結果が法令に基づいて作成されたものであることや「資料Ⅰ」「資料Ⅱ」がそれぞれどのようなものであるかを示しています。

また、中段以降には、各発行者の略称及び正式名称を載せております。

1 ページおめくりください。「観点－1」から「観点－5」ページ目までが本調査研究の観点をお示ししたものです。

「観点－1」の次のページ、国語のページになりますが、この国語の例を見ながら、各教科・種目の「資料のつくり」について御説明いたします。

それでは、「国語－1」と書かれたページを御覧ください。

左上に【資料Ⅰ】と記載があります。この【資料Ⅰ】は、発行者別に、法令等との関連や内容、構成、装丁等の特色を、文章表記でそれぞれ1 ページにまとめています。

上から一段目は「発行者の略称」と「書名」です。

二段目以降です。左側に1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連、2 かながわ教育ビジョンとの関連、3 内容と構成、4 分量・装丁・表記等の4 項目で整理しております。

また、観点⑮につきまして、「児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫」として、各教科・種目において1 人1 台端末を活用して学習ができるよう二次元コードが掲載されていること、また、そのリンク先について記載しております。本日、皆さまの御机上にタブレット端末を御用意しておりますので、必要に応じて御活用いただけたらと思います。

なお、外国語につきましては、観点⑮と⑳について、学習者用デジタル教科書についても記載しております。

続きまして、ページをおめくりいただきまして「国語－4」と書かれたページをお開きください。ここからが「資料Ⅱ」です。この『資料Ⅱ』は、先ほど御覧いただいた『資料Ⅰ』をまとめるにあたってのベース、あるいは根拠となるデータを観点ごとに示したものです。

また、この「資料Ⅱ」の後半、「国語-10」ページをお開きいただきまして、「参考」として、「題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載」、「教科書1 冊ごとの重量」について調査したものをお示ししています。この「資料Ⅰ」「資料Ⅱ」の2 つの資料から、各教科・種目で構成されております。

続きまして、本日、御審議いただくポイントについて御説明いたします。

冒頭、支援部長の古島からの話にもございましたように、お配りしております「教科用図書調査研究の結果」が、今後、市町村が行う教科書採択の基礎的な資料として、とても重要なものとなってまいります。

この資料が各市町村の採択の基礎資料となるにあたり、正確性や妥当性、公平性が担保されたものになっているかという点について検証いただくことが、ポイントとして挙げられます。

それぞれの発行者から出されている教科書の優劣等を検討する場ではないことに御留意くださ

い。

また、公平な立場で書かれているか、調査員の主観的な感想や意見、評価が盛り込まれてしまっている記述はないか、各教科書の特色が読んで伝わる資料になっているかという点をふまえて「調査研究の結果」をお読みいただくとともに、各教科・種目の調査員の代表からの報告をお聞きいただきたいと思います。

その上で、御不明な点は質疑としてお聞きいただき、十分に御審議くださるようお願いいたします。

なお、皆様の御机上に、今回の調査研究の対象となった令和6年度使用小学校、義務教育学校の前期課程教科用図書の見本本を置いてあります。今は国語と書写について、教科書見本を置いておりますが、この後説明等終わりましたら、社会、地図、順番に、教科書見本を入れ替えさせていただきますので、御了承ください。私からは以上です。

【浄泉会長】

ありがとうございます。ただいま説明いただきましたが、何か御不明な点等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、はじめに、国語の調査結果について報告をお願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

それでは、10時から国語の御説明をさせていただければと思っております。

まだお時間ありますので、よろしければ、タブレット、教科書見本、手にとって御覧いただきながら、内容を見ていただければと思っております。

10時になりましたらまたお声掛けをしますので、国語から順番に御説明を差し上げたいと思っております。どうぞよろしくをお願いいたします。

【浄泉会長】

はい、それでは、調査員の方もお見えになりましたので、はじめに、国語の調査結果について報告の方をお願いいたします。

報告者は自己紹介と、調査研究の結果について報告をお願いいたします。

【報告者（国語専門調査員会代表者）】

では、国語の調査研究の結果について御報告いたします。(略)以上で報告を終わります。

【浄泉会長】

ありがとうございます。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対しまして、御意見と御質問を分けてお伺いしたいと思えます。

まず御質問のある方いらっしゃいましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

それでは何か御意見等のある方はお願いいたします。いかがでしょうか。

もう少し時間をおきましようか。

【事務局（山田指導主事）】

時間としては10時20分までを考えています。

【浄泉会長】

では、お願いいたします。

【岡崎一実委員】

こんなことでもいいのかなどということ、何度目かということ、国語－6ページの一番下の段、光村図書出版の一番下、「竹取物語などを扱った」の「か」が余計であると思います。

それから、国語－10ページ、県の題材の平家物語が、光村図書出版だけ二重カギカッコがついているのですが、多分いらなにかなど、3者の教科書を見ましたけれども、そういうのも見ていて、見直していただけたらということ、申し上げました。

【浄泉会長】

ありがとうございます。細かい点まで、ぜひそういったところ見ていただければと思います。

報告者の方から何かいいですか。

【報告者（国語専門調査員会代表者）】

御意見ありがとうございました。

【浄泉会長】

単純な修正の方は、事務局で確認をしていただけますか。

はい、では、今6ページと10ページのところで、2点御指摘がございましたので、よろしくお願いします。ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

はい、では、お願いいたします。

【土肥委員】

感想でも構いませんか。

読ませていただいて、全体的にこう充実した内容になっていて、どの教科書におかれましても、言語活動の充実ですとか、読書活動についてという部分の記述がとても分かりやすいなという印象を受けました。

特にカリキュラム・マネジメントの部分においては、SDGsであったり、地域の防災とか文化財あたりのところを記載していただいていますので、より具体的にこういうことが書かれているというのが、これを読んですごくよく分かるなというふうに思いました。以上です。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございました。

他に感想等も踏まえてでも結構ですので、何かございましたらお願いいたします。

【岡崎恵子委員】

質問の時間が終わってしまったのですが、改めて読ませていただいて、1点質問と感想をさせ

ていただきたいと思います。

まず質問ですけれども、内容と構成というところで、説明を⑩番、特に「話すこと・聞くこと」ではということで、ここにまとめていただいているのですけれども、3領域がある中で、あえて「話すこと・聞くこと」を抽出して、その部分に着目して、皆さんにお示ししている理由等ありましたらお答えいただけたらと思っております。

また、現場感覚で言うと、例えば「書くこと」であったり、「読むこと」は下の方にもあると思うのですけれども、そういった部分に関して派生した何かお示しした資料っていうのが、もしかしたらあるのかもしれないのですが、何故ここで示さないのかというところで、1点質問です。

2点目の感想に関してですけれども、本当に先ほどお話もあったように、1枚で丁寧にまとめられていて、見ている時に比較しながら見られるという点で、とても分かりやすいなというふうな感想として感じたことです。以上です。ありがとうございます。

【浄泉会長】

ありがとうございます。

それでは質問の方も出ましたので、御質問について、まず報告者の方から回答をお願いします。

【報告者（国語専門調査員会代表者）】

御質問ありがとうございます。3番内容と構成の⑩に関してですが、こちら「話すこと・聞くこと」と3者とも書いていることに関して、一つ上の⑨番を見ていただくと、内容と構成の中で、こちらの⑨番に関しては「書くこと」で書いております。

「話す・聞く・書く・読む」もそうですけど、バランスを持って示しているため、⑩番に関しては「話すこと・聞くこと」ことで揃えて書かせてもらっています。

【浄泉会長】

ただいまの回答でいかがでしょうか。

【岡崎恵子委員】

御説明ありがとうございます。一方で、その領域をしっかりと示している場合と示していない場合があると思うのですけれども、読み手にとって、例えば⑩番に関しては、「話すこと・聞くこと」ではどういうふうな具体が書かれているのに対して、今、御説明のあった⑨番で、「書くこと」においてっていうあたりの領域っていうのが抜かされている、そういった理由は何かありますでしょうか。

【浄泉会長】

はい、いかがでしょうか。

【事務局（大橋指導主事）】

貴重な御指摘、御意見ありがとうございます。おっしゃる通り、各領域の資質・能力ということに関してお伝えすると、領域を示した方が良いかと思えます。

一方⑮番につきましては、領域についての設定項目ではありませんので、こちらについては特に取り上げて領域を1つお示しするというよりは、例えば「書くこと」は、子どもたち、児童にとっては難しい学習活動になると思うので、⑮番については取り上げてはいるのですが、ただ「書くこと」だけではなくて「読むこと・話すこと・聞くこと」についても、二次元コードの方は設定されておりますので、こちらについては領域についてというよりは、児童にとって分かりやすいような工夫ということについての項目でしたので、お示ししていないところがあります。

ただ、今おっしゃっていただいた通り、しっかりとその点について、領域を意識してとか、なぜ「話すこと・聞くこと」ということでこの⑮番については記載しているのかということについて、明確にしっかりと意識をした上で作成した方が良いかなというふうに思いましたので、また改めて検討したいと思います。

【浄泉会長】

ただいまの回答でよろしいですか。

【岡崎恵子委員】

はい、ありがとうございます。検討していただいて、よろしく願いいたします。

【浄泉会長】

では質問ということで、よろしく願いいたします。

他にいかがでしょうか。

【岡崎一実委員】

感想と意見で、それだけでいいと思うのですが、例えば国語－5ページの観点の④⑤⑥をずっと3者並べてあるのですが、公平性とか正確性という点ではもう本当にこの通りよくまとまっていると思います。ただ、頭と尻尾の部分が一緒に、教材名だけ入れ替えて書いてあるというふうに読めるのですね。それぞれの教科書の特色、特徴という点では例えば「思いやる力」と、「生命の尊厳」っていうのは、どの会社も「生命の尊厳」は取り上げているけど、会社によっては、「豊かな心」の方に特徴があるかもしれないし、「人権」の方に特別なものがあるかもしれないというあたりが見えてこないかなっていうような感想を、それから、真ん中の「たくましく生きる力」の「情報化」も「情報化」とか大事だけれども、「コミュニケーション能力」の方に力を入れている会社があるかもしれないし、というところで「環境教育」もそうですね。あえて同じ観点でなされたのかなというそんなことも感じ、もし、まとめられた時に何かあったら教えていただければと思いました。

【浄泉会長】

この点については、事務局の方で。

【事務局（山田指導主事）】

ありがとうございます。今、岡崎委員がおっしゃったように、今回、教科書の各発行者で優劣

がつかないような書き方を心がけるということがあります。これから御説明します各教科、種目においても、それぞれ、かながわ教育ビジョンから1つの項目を統一して書くということを心がけておりました。

教科書を読み込んだ中で、同じ観点でそれぞれの教科書の特徴を記載することができ、しかもそこに優劣がつかないというところを慎重に判断して記載しております。

【浄泉会長】

よろしいですか。

それでは時間の方も迫っておりますが、どうでしょうか。

【林委員】

全体的に見せていただいて、国語に限らずどの教科も非常に公平性が高く、何かに偏ってまとめているわけではないということが非常によく分かって、まとめることの御苦勞を思いましたが、国語-10 ページのところ、題材に関連した神奈川県に関する主な文書等の掲載のところで見ますと、光村図書出版が非常に掲載が多いように見えるのですけれども。

例えば筆者が、神奈川県の出身であったりとか、神奈川県で勤務されているってということだけでここに載っていて、今内容を見たら、あまり内容的には神奈川が特化して書かれてはいなかったのですね。例えば写真が載っていて、それが神奈川県の中の写真であったりとか、神奈川県に関わる文書であったりということであればいいのですけれども。作者や筆者が少し神奈川にかかっているというだけで掲載されていて、光村図書出版がとても多いように見えてしまうのですけれども、この点についてはいかがでしょうか。

【浄泉会長】

このところはいかがでしょう。

事務局の方でいいですか。

【事務局（山田指導主事）】

御意見ありがとうございます。今のところ、教科書の内容から神奈川県に関係あるものを見ていただく趣旨で、すべて記載しているような作りになっています。

これからこの表記を検討するにあたって、御意見として承りたいと思います。ありがとうございます。

【浄泉会長】

よろしいでしょうか。はい、ありがとうございました。

それでは、以上でよろしいでしょうか。

では、事務局の方、お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

それでは3点お諮りします。

まず、1点目。国語-6 ページの一番下、光村図書出版の「扱かった」の送り仮名についての

訂正。

続いて、国語－10 ページの二重カギカッコの表記の統一。

3 点目。3 領域が分かるような表記について見直しを行っていくという 3 点について、修正、変更させていただいてもよろしいでしょうか。

失礼しました。加えて 4 点目、神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載、ここの掲載の基準について見直しを行うという 4 点について、こちらで修正をさせていただいてよろしいでしょうか。

【浄泉会長】

いかがでしょうか。今 4 点あります。よろしいでしょうか。

【藤井委員】

よろしいですか。今のことについて、神奈川の基準のことを記載していただいた方がいいのではないかと思います。

神奈川に関する主な文書や写真・グラフ等といった時の神奈川に関する基準を検討していただいて、この基準から掲載をしていますというふうに御記載いただけましたら、分かりやすいのではないかと思いますので、記載することも含めて検討いただけたらと思います。

【浄泉会長】

では、その点も踏まえた中で、検討の方よろしくお願ひしたいと思います。

よろしいでしょうか。

それでは国語につきましては、以上で報告を終わりにいたします。大変お疲れ様でした。

続きまして、書写の調査結果について報告をお願いいたします。報告者は自己紹介と調査研究の結果について、お願いいたします。

【報告者（書写専門調査員会代表者）】

では、書写の調査研究の結果について御報告いたします。(略)以上で報告を終わります。

【浄泉会長】

ありがとうございました。それでは、ただいまの調査員からの報告に対しまして、御意見と御質問を分けてお伺ひしたいと思います。

まず御質問のある方、お願いいたします。

いかがでしょうか。

【松本委員】

質問というよりも、先ほどあったような掲載に関わることかなと思うのですけれども、書写－1 の㊸のところ。国語－1 と同じ会社ですけれども、書き方が大分違うのですが、これは何か意図があるのでしょうか。

あと最後、文末に丸もないのですけれども。順番が違うというか、国語－1 の㊸、同じ会社で同じような形になっているのですけれども、書く順番が違ったり、文末に書写の方は丸がなかつ

たりしています。

【浄泉会長】

カッコの中ですね。

その辺の体裁の方はどうでしょうか。

【報告者（書写専門調査員会代表者）】

はい。御質問ありがとうございます。東京書籍については丸が入ります。

【浄泉会長】

それでは実際、後でしっかり確認をしていただいて、そこの体裁を整えていただくという形でよろしいでしょうか。

御指摘があったところは、確認をお願いいたします。

他に御質問等ございますでしょうか。

はい、お願いいたします。

【岡崎一実委員】

書写-1も2も3もですが、一番下の⑨の文章がちょっと意味がわからない。「学年ごとの学習内容が掲載されたページで構成されている。」3者とも同じ書き方ですが、もう少し分かりやすく書いた方がいいような、意図としては何を言いたかったのか。お願いします。

【浄泉会長】

報告者の方で、お願いします。

【報告者（書写専門調査員会代表者）】

御指摘ありがとうございます。学年ごとに学習内容がまとめられているという内容が、どの学年もそうであり、もう少し具体的に話しますと、「学びを生かそう」ですとか、「大切」という言葉が入るのですが、もう少し分かりやすくということでしたら、そのような内容を追加したいと思います。

【浄泉会長】

質問の方はよろしいですか。

【岡崎一実委員】

はい。

【浄泉会長】

では、その他、御質問ございますか。

それでは御意見についてお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

はい。お願いいたします。

【藤井委員】

意見というよりはちょっと教えていただきたいのですが、教科書を記載する時に二重カギカッコで書かれていると思うのですが、それ以外の記載方法というのは取られないのでしょうか。

か。

例えば光村図書出版の場合、かながわ教育ビジョンとの関係で『書写広げたい』。内容と構成のところ御説明いただきました⑩のところ『書きぞめ』など、教科書の記載の中での位置付けが少々異なっているのではないかと思うのですが、同じ二重カギカッコで記載がされておきまして、教科書の記載につきまして、二重カギカッコ以外での記載方法の検討というのはされているのかどうか、或いは別の書き方で、何かされるのかどうかということについて、教えてください。

【浄泉会長】

では、事務局の方でお願いします。

【事務局（山田指導主事）】

二重カギカッコにつきましては、教科書の表記をそのまま引用する場合には、二重カギカッコを使っています。

ただ、表記が長過ぎて、枠の中に入りきれないということもありえますので、教科書の表記をそのまま使わない場合には、二重カギカッコを使わない表記として記載しています。

【浄泉会長】

よろしいですか。

【藤井委員】

分かりました。そうしましたら、教科書の中での記載にちょっと準ずるような形での表記方法を御検討いただけると良いのではないかというふうに思います。

今、二重カギカッコですべて記されていますと、タイトルにきているのか、例えば付録のようなどころなのか、ちょっとパッと見では分からないという問題があるかと思しますので、より教科書の中での、どのような記載なのかがこちらの資料を見ると分かるような形での記載方法を、御検討いただけると良いのではないかというふうに思います。

【浄泉会長】

はい。ありがとうございます。

これは全教科に関わってくることだと思いますので、そういったところもまたしっかり見直していただければと思います。

それでよろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。

では、事務局の方、お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

それでは3点お諮りします。

まず1点目が、書写－1の⑫にある表記の確認。

2点目が、⑬番、3者とも表記の見直し。

3点目が、書写だけにかかわらず、教科書表記をそのまま使うときは二重カギカッコ、それに

準ずる際の表記の仕方について検討。この3点で修正をさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

【浄泉会長】

いかがでしょうか。

それではその形でよろしく願いいたします。

では書写につきまして、報告を終わりにいたします。お疲れ様でした。

【事務局（山田指導主事）】

それではここで教科書の入れ替えを行わせていただきます。5分ほどお時間いただきまして、教科書の入れ替えを行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【浄泉会長】

それでは、社会の調査結果について報告をお願いしたいと思います。報告書は自己紹介と、調査研究の結果について報告をお願いいたします。

【報告者（社会専門調査員会代表者）】

では、社会の調査研究の結果について御報告いたします。(略)以上で報告を終わります。

【浄泉会長】

ありがとうございます。それでは、ただいまの調査員からの報告に対しまして、同じく、御質問と御意見等を分けてお伺いしたいと思います。

まず御質問のある方いらっしゃいましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

お願いいたします。

【岡崎一実委員】

表記の仕方の質問で、「取組」の名詞と「取り組む」の動詞の書き方の違いは、これは意識してそうになっているのか、社会－1も2も3もあります。「取組」っていう時には送り仮名が無しの取組、「取り組む」のときには送り仮名が「り」と「む」が入っていますが、これが通例で、これでよいということでしょうか。

【事務局（山田指導主事）】

おっしゃる通りです。

【浄泉会長】

その通りということで御理解いただければと思います。

他に御質問ございますでしょうか。

それでは、御意見のある方お願いいたします。いかがでしょうか。

もし無いようでしたら、御感想等でも構いませんのでお願いいたします。いかがでしょうか。

はい。お願いいたします。

【松本委員】

感想になってしまうかもしれないですけども、どこの会社も持続可能な開発目標について記

載があるにもかかわらず、この調査報告書の方にはあんまり記載がないのですけれども。

その辺は本当はどこの会社もそこに力を入れていきますし、学習指導要領の部分とかを考えると、記載があってもいいのではないかと思うのですけれども、感想です。

【浄泉会長】

はい。ありがとうございます。その点につきまして、何か報告者の方であれば。

【報告者（社会専門調査員会代表者）】

それでは、修正、検討が必要かどうかを確認していきたいと思います。

【浄泉会長】

一応、感想ですよ。

【松本委員】

はい。

【浄泉会長】

感想ですので、もし調査されて、何かそういった持続可能になっていうところで、何か感じられたところとかあれば、報告の方お願いします。

【事務局（稲葉指導主事）】

おっしゃる通り、各者とも持続可能な目標、事実についての記述、それから、それに関連する記載等ありますので、それが実際の授業の中で、色々な場面で使う場面は恐らくあるかなと思いますので、そういったところも御意見としていただきたいと思います。ありがとうございます。

【浄泉会長】

ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。特によろしいですか。

はい、それでは事務局お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

お話を伺う中では、特に調査員からの御説明等で御了解いただけたと判断をさせていただきたいと思いますが、よろしいですか。

【浄泉会長】

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、その形でお願いしたいと思います。

それでは社会につきましては、報告を終わりにいたします。お疲れ様でした。

【事務局（山田指導主事）】

では続いて、同じ調査員から地図の説明をさせていただきます。

【浄泉会長】

それでは地図の調査結果について報告の方お願いいたします。

【報告者（地図専門調査員会代表者）】

では、地図の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【浄泉会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対して、御質問と御意見を分けてお伺いしたいと思います。

まず、御質問のある方はお願いいたします。いかがでしょうか。

はい、お願いいたします。

【岡崎一実委員】

地図で、つい最近の東京書籍の高校の問題がありましたけれども、検定を通った後の訂正だったのですが、今回はその辺は大丈夫そうでしたか。中身を検討されて。

【浄泉会長】

それは、事務局の方でよろしいですか。

報告者の方で。

【報告者（地図専門調査員会代表者）】

はい。調査員会の方として、確認はして大丈夫かとは思いますが。

【浄泉会長】

はい、よろしいでしょうか。

他に御質問はいかがでしょう。

はい、お願いいたします。

【若杉委員】

ちょっと具体的にイメージができなかったので教えていただきたいのですが、1の教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連の②のところ。東京書籍のところについて、「地図や資料を用いて考える学習活動」というところ。そして、帝国書院の方が「地図や資料から調べて考える学習活動」、この辺りのちょっと違いというか、具体的なところがもし分かれば教えていただきたいなと思います。

【浄泉会長】

それでは、報告書の方からお願いいたします。

【報告者（地図専門調査員会代表者）】

帝国書院につきましては、地図マスターへの道というコラムがございまして、こちらが、課題のような形になっておりますので、そこから調べて考えること。そして、東京書籍の方に関しては、「マップでジャンプ」のところで、実際に課題が掲載されていて、距離を求める具体的な部分で出ておりますので、そちらの方が具体的に調べて、そこら考えるという活動であると調査員の方では読み取れて、こちらの記載とさせていただきます。

【浄泉会長】

よろしいですか。

【若杉委員】

はい、ありがとうございます。

【浄泉会長】

帝国書院の方が、調べて考える。東京書籍が用いて考える。

【報告者（地図専門調査員会代表者）】

東京書籍の方でいきますと、マップでジャンプのところになりますけれども、こちらが、地図の見方や、活用したりするというので、用いるという言葉を使わせていただいております。

そして、帝国書院の方が、実際の資料の方から情報を探したり、資料を基に考えたりする活動ということで、調べるという言葉を使わせていただきました。

【浄泉会長】

ありがとうございます。よろしいですか。

他に御質問等いかがでしょうか。

お願いいたします。

【岡崎一実委員】

東京書籍の地図-1の⑰番。統計、各種資料について2019～2022のデータ。帝国書院は2021。今ページを開いているのですが、22年までのデータがここに入っていることが分かるのはどこでしょうか。

教科書の作成のスケジュールから言うと、22年のデータはなかなか入りづらいかなと思います。入っているならそれで構いませんが、こっちが22年でこっちが21年だと、新しいなというふうな印象を持ちますので、確認をお願いします。

【浄泉会長】

データの年数についてどうでしょう、報告書の方から。

【報告者（地図専門調査員会代表者）】

東京書籍の方83ページ、84ページの見開きを開いていただきたいのですが、国宝重要文化財の数が、こちらの方が2022年となっておりますので、2022年まで取り入れさせていただいております。

帝国書院の方については、2021までの資料しかございませんでしたので、このような数字となっております。

【浄泉会長】

よろしいでしょうか。

【岡崎一実委員】

この1列だけで、全体がそういうふうに思ってしまうかなという印象を持ちました。

【浄泉会長】

他に質問の方をお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは御意見の方をお伺いしたいと思います。

ただいまの1つの段階、資料だけでということで、そういう御意見として捉えていいのかどうかというのは、その点はどうか。

【岡崎一実委員】

事務局の判断にお任せします。

【浄泉会長】

はい。それは事務局の判断でお任せしたいということですので、よろしく申し上げます。

他に御意見等ございますでしょうか。特によろしいですか。

御感想等があれば伺いますが。

それでは無いようですので、事務局の方、お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

それでは1点お諮りします。先ほどの観点⑰番について、調査研究の段階から慎重に調査をして、今ここに表記をしておりますけれども、この年数の違いが気になるというところが御意見としていただいた上で、こちらで検討したいと思います。よろしいでしょうか。

【浄泉会長】

いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、事務局の方でよろしくお願いいたします。

それでは、地図につきまして、報告の方終わりにいたします。大変お疲れ様でした。

【事務局（山田指導主事）】

それでは教科書の入れ替えを行わせていただきます。続いての音楽を11時35分からの再開いたしますので、それまで適宜、教科書を見ていただく等、御休憩の時間とさせていただきます。よろしく申し上げます。

【浄泉会長】

それでは、音楽の調査研究の結果について報告をお願いいたします。報告者の自己紹介と調査研究の結果について報告をお願いします。

【報告者（音楽専門調査員会代表者）】

では、音楽の調査研究の結果について御報告いたします。(略)以上で報告を終わります。

【浄泉会長】

ありがとうございます。それではただいまの調査員からの報告に対しまして、御質問と御意見を分けてお伺いしたいと思います。

まず御質問のある方いらっしゃいましたらお願いします。

【事務局（山田指導主事）】

事務局から1点よろしいですか。

【浄泉会長】

では、事務局のほうからお願いします。

【事務局（山田指導主事）】

音楽－2の観点⑰について、三行に渡っておりまして、全部の行が入り切っておりません。こちらの方は事務局で修正をさせていただきます。申し訳ありませんでした。

【浄泉会長】

はい。そちらの方は事務局の方で修正の方お願いいたします。

それでは、御質問をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

お願いします。

【中本委員】

音楽の6ページの【参考】ですけれども、一番左端の数字は多分学年なのでしょうか。他の教科を見ますと、第〇学年何年というふうに書かれてあるのがあって、教科ごとに異なっているんですね。一瞬、何年生の教科書なのだろうというふうにちょっと見てしまいましたので、全教科で統一されるのかとか、ちょっと検討していただけたらなというふうに思います。以上です。

【浄泉会長】

今のは御意見としてよろしいですか。

後程、そちらについては事務局で回答をお願いします。

御質問の方お願いしたいと思います。いかがでしょうか。

はい、お願いいたします。

【田村委員】

教育芸術社の教科書の②の方で、『「このような音楽にしたい」』というところが、そのまま二重カギカッコとカギカッコになっているのですが、先ほどは、二重カギカッコのところは教科書の表記の通りということだったのですが、これはどちらかに訂正する必要があるか教えてください。

【報告者（音楽専門調査員会代表者）】

ありがとうございます。こちらは、学習マップのところなので、二重カギカッコになっています。

【事務局（ブライエル山口指導主事）】

補足で説明させていただきます。二重カギカッコが教科書の中の文言ということで、教科書の中に、「このような音楽にしたい」という形で書かれていましたので、教科書の表記ということで『「このような音楽にしたい」』という形にさせていただきました。

【田村委員】

ありがとうございます。

【浄泉会長】

質問としてはよろしいですか。

他にいかがでしょうか。

【岡崎恵子委員】

質問で、音楽－２のところに、教育芸術社の教科書の⑧番なので、『小犬のビンゴ』と1マス分空いているのですけれども、たぶん1・2年生の分かち書きのために、あえて教科書会社等が空けていると思うのですけれども、教科書会社の方を確認すると半角スペースになっていて、そちら全角スペースになっていて、逆に広がりすぎて読みにくいなというところがあるので、そのあたりの統一であったり、考え方があったら教えてください。

【浄泉会長】

はい。スペースの確認を。

【報告者（音楽専門調査員会代表者）】

御意見として承ります。ありがとうございます。

【浄泉会長】

それに関してはよろしいでしょうか。

【岡崎恵子委員】

はい。

【浄泉会長】

他に御質問ございますでしょうか。

それでは御意見の方お願いしたいと思います。

【若杉委員】

項目の⑮番ですけれども、ちょっと読んでいったときに、学習活動が、ずーっとって二次元コードが設定されているというふうになっていて、ちょっと文章的に分かりづらいなというところを感じました。他のところを見ますと、「学習活動が、何々に示され、二次元コードが設定されている」というような表記になっていましたので、そういった形にされると良いのではないかと思いました。以上です。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございます。

この辺は、事務局の方でよろしいですか。

【事務局（山田指導主事）】

全体の教科等を見ながら、統一を図っていきたいと思いますので、こちらも確認をしたいと思っています。ありがとうございます。

【浄泉会長】

よろしく願いいたします。

他に御意見いかがでしょう。

では先に黒岩委員、お願いします。

【黒岩委員】

今事務局の方から、全体を通して、表記の統一等を図るということなので含まれると思うのですけれども、国語、社会ときまして、色々な題材名のところに、第何学年というふうにと書かれてあった方が、『It' a Small Word』は何年生だったろうとか、『トルコ行進曲』はどうだろうとか、この後この資料が各市町村で貴重な資料になるときに、利用しやすいなというふうに思いました。何学年で取り扱われている題材かということが分かったほうがいいかなというふうに思いました。

それからもう一つ、本当に感想になってしまうのですがすけれども、かながわ教育ビジョンの④のところで、教育芸術社の[思いやる力]は、こういうめあてが示されていますという書き方。教育出版の方は、『さんぼ』という歌がありますというところで、例えばこちらの資料Ⅱを見ると、教育芸術社の方では『Believe』がありますというふうに書いてあって、こちらは『さんぼ』があって皆で歌えるのだな、こちらはめあてが示されているだけなのかなというふうにちょっと思いまして、題材名があるのならば、こちらも『Believe』でというふうに分かったほうがいいのかと、公平公正という意味では、そんなふうなことを感じました。以上です。

【浄泉会長】

ありがとうございます。

続きまして、松本委員お願いします。

【松本委員】

要望という形になると思うのですがすけれども、音楽－6の【参考】で、神奈川に関する文章や写真・グラフ等の掲載ですけど、教育芸術社の6年の見開きに出てくる山田和樹 指揮者、秦野出身で希望ヶ丘高校出身ですので、取り上げて欲しいなというふうに思います。よろしく願いします。

【浄泉会長】

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

お願いいたします。

【田村委員】

教育出版の方の⑧の方の『Short Time Learning』のところの、「a」が抜けているので、こちらの訂正をお願いします。

【浄泉会長】

ありがとうございます。
他にいかがでしょうか。

【中本委員】

間違っていたらすみません。今、山田和樹さんが神奈川県にゆかりがある方と聞いたのですが、この教育芸術社の6年生の表紙の山田さんですか。

【松本委員】

教育芸術社の表紙の裏。

【中本委員】

表紙の裏の方と同じでよろしいですか。

【松本委員】

この方のことを言ったのですけど。

【中本委員】

ごめんなさい。すみませんでした。

【浄泉会長】

他に御意見いかがでしょうか。

【林委員】

二重カギカッコは、教科書の中の表記を入れているということで伺ったので、音楽－3ページ、資料Ⅱの1番、教育基本法、学校教育及び学習指導要領との関連のところの①の教育芸術社ですが、『振り返りのページ』というふうに二重カギカッコになっているのですけど、教科書は振り返りの「振り」が平仮名のようにですけど。教科書通りの表記にするのであれば、「ふ」にした方がいいかなと思いました。

【浄泉会長】

ありがとうございます。
他にいかがでしょうか。

【岡崎一実委員】

2点、音楽－5ページの⑩番の書き方が、教育出版の『かえるのがっしょう』などの輪唱や、教育芸術社が『かえるのがっしょう』などの輪唱の教材なので、どっちかに統一かなというふうに思いました。後半が2部合唱などの教材と入っているので、教材が入った方がいいかなと思います。

もう1つは、観点の④番について、先ほどの黒岩先生とは違った観点ですが、[思いやる力]の人権教育についてということで各者まとめられています。一般的に人権教育というと、差別の問題になるかなあと。取り上げられているものが、今、音楽－3ページでいうと、「人権教育」について、『音楽のおくりもの』が掲載されて、ふりがなが振られて、手話がついている。

それから、「人権教育」について、『著作権について知ろう』が書いてあって、これも著作権だから人権なのかもしれませんが、めあてと『Believe』で、人権教育という観点で取り上げる言葉としてはちょっとイメージが違うかなというふうに感じました。

例えば共生とかというふうにするなら、繋がるかなと思いますので、その辺の御検討を、また質問してもいいのですが、ここを人権とした、何か理由があればというところも含めてになります。お願いします。

【浄泉会長】

そこの人権というところで、お答えをお願いします。

【報告者（音楽専門調査員会代表者）】

ありがとうございます。著作権に関しては知的財産権ということで、現在かなり報道もありますので、そこを取り上げているということでこちらに入れさせていただきました。以上です。

【浄泉会長】

それを踏まえた中で検討をしていただくような形になると思います。

他にいかがでしょうか。

お願いいたします。

【若杉委員】

音楽－3の今言っていたところですけど、2のかながわ教育ビジョンの④の教育芸術社のところですが、下の行の『Belive』のスペルがBelieveですかね。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございます。

大分細かいところまで御指摘の方もいただきました。

その他ございますでしょうか。

【中本委員】

細かいことで申し訳ありません。音楽－5ページですけれども、⑮番のところに、教育芸術社の方は2次元コードが算用数字になっていますが、教育出版の方が二次元の漢数字になっておりましたので、ちょっと全部把握しているわけではないのですが、他はほとんど漢数字だったかなと思いますので、揃えていただければいいのかなと思います。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございます。

【黒岩委員】

同じような観点です。音楽－3の⑤ところで、教育出版は「たくましく生きる力」についての「コミュニケーション能力」について、と同じことの表現だと思うんですが、教育芸術社は「たくましく生きる力」の「コミュニケーションの能力」について、これは、カッコがあるからなのか、ちょっとこう読んでいて、どちらかに統一したほうがいいのかと思いました。

【浄泉会長】

こちらの検討もよろしくお願ひしたいと思ひます。

他にいかがでしょうか。

【土肥委員】

体裁の部分に関して、音楽－1の⑧のところで、カリキュラム・マネジメントについて、他教科との関連として、というふうに音楽は記述があります。

これまで見てきたものは、具体的に外国語活動などの関連ですとか、国語ですとか、具体的な教科が記載されていましたので、その辺りを統一していくのかは御検討ください。お願ひします。

【浄泉会長】

はい、こちらの方も検討をお願ひしたいと思ひます。

他にはいかがでしょうか。

大分細かいところまで御指摘いただいたのですが、事務局も大丈夫でしょうか。

皆様方からよろしいですか。

はい、それでは、事務局の方、お願ひいたします。

【岡崎恵子委員】

午前の部全体で1個、確認したいことがあるのですがけれども、音楽としてはもういいのですが、今表記の件に関して、ちょっと言いたかったことがございまして。

音楽が終わった段階でよろしいでしょうか。

【浄泉会長】

では、音楽が終わった段階でよろしいでしょうか。

【岡崎恵子委員】

はい。

【浄泉会長】

それでは、まず音楽に関して事務局の方からお願ひします。

【事務局（山田指導主事）】

全体のことに關しては、この後図画工作もありますが、その後にされますか。それとも今お話しされますか。

【岡崎恵子委員】

大丈夫です。

【事務局（山田指導主事）】

それでは、16点お諮りをさせていただきたいと思ひます。

まず、冒頭、事務局からお話をさせていただきました、音楽－2、⑰番の表記、見えない部分についての修正。

続いて、音楽－6の参考①の学年の表記について、こちらでも統一できるよう確認したいと思ひ

ます。

続いて、3点目、音楽－2の②の二重カギカッコの中の一重カッコの扱いについて、事務局の方で確認をしたいと思います。

4点目、音楽－4の⑧『小犬の ビンゴ』の全角のスペース半角のスペース、こちらも確認をしたいと思います。

続いて、音楽－1の⑮番の観点、設定されている等の表記の確認。

6点目。学年等についてです。書き方として、基本、資料Ⅰには、書ける文字数に制限があるということがございまして、学年については資料Ⅰの方には書かないような統一をしています。その分、資料Ⅱの方で、第何学年ではというような書き方をしているつもりで、こちらの方は統一をしたいと考えています。この確認も改めてさせていただきたく思います。

続いて、7点目、音楽－3の④番。めあてと題材の混在について、こちらも確認したいと思います。

続いて、8点目、教育芸術社の神奈川県出身の方については改めて確認をしたいと思います。

9点目、音楽－1の⑧のスペル、こちらは修正をいたします。

10点目、音楽－3、「振り返り」について、こちらも漢字表記、平仮名表記を確認をしたいと思います。

11点目、音楽－5の⑯、輪唱、教材の表記について、こちらも確認をしたいと思います。

続いて、12点目、かながわ教育ビジョンの観点④で使っている人権教育の表記について、こちらも人権教育で良いのかどうか検討したいと思います。

13点目、音楽－3の④、英語のスペル修正をいたします。

14点目、音楽－5の二次元コードの「二」、全体として完成時に統一をしたいと考えています。こちらも修正をしたいと思います。

15点目、音楽－3の⑤の「についての」、或いは「の」書きぶりについて検討したいと思います。

最後、16点目、⑧の具体的な教科名、カリキュラム・マネジメントの観点における他教科と書くか、具体的な教科名、この表記については確認をしたいと思います。以上16点、対応したいと思いますが、よろしいでしょうか。

【浄泉会長】

いかがでしょうか。よろしいですか。

かなり量がありますけども、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、音楽につきまして、報告を終わりにいたします。お疲れ様でした。

それでは、図画工作の調査研究の報告をお願いいたします。報告者は自己紹介と調査研究の結果について、御報告をお願いいたします。

【報告者（図画工作専門調査員会代表者）】

では、図画工作の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございました。

それではただいまの調査員からの報告に対しまして、御質問と御意見を分けてお伺いしたいと思います。

まず御質問られる方お願いいたします。

いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、御意見の方向伺いたいと思います。

いかがでしょうか。

【岡崎一実委員】

お昼前にすみません。6ページ。2点ありまして、参考と書いてある神奈川県の記事に関するもの、国語のときにも出ましたが、どういう観点でそれを取り上げたかというところで、例えば、「サザンビーチでアート」と書いてあれば誰でもわかると思いますが、その上の「たっぷりえのぐでおもいきり」が何故かなというのが分かりにくい。その辺りが分かるようになるといいかな。今、教科書を開いたら、（横浜市）とだけ書いてあったのですけれども、それなら横浜市というふうにあってもいいのかなという。これは上も下も同じように思いました。

日本文教出版の隈研吾さん、角川武蔵野は埼玉かな。でも神奈川に取り上げた理由があれば、カッコなり何なりというのが見えなかったのですよ。その辺りが一つ、神奈川県に関するもので。

その次が、その下の②。各教科統一するとすれば、総冊数が入ってないので、何冊か6冊と入るかな、あと、1・2年上、1・2年下というふうに、上と下の表記が必要かなと。

そして本当に細かくてすみません。開隆堂の1・2年の上と下が1グラム違うのですが、誤差の範囲でどっちか、今ページ見たら同じページ数だったのですね。中に入ってる折り込みも含めて多分同じかな。日本文教出版の3・4も2グラムの違いですけど、ページ数は一緒だったので、何でかなと思いながら、正確を期したほうがいいかなと思いました。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございました。

もし神奈川の関係で、報告書の方から何かありましたらお願いします。

【事務局（永野指導主事）】

神奈川の美術に関連するものですが、日本文教出版の5・6上巻57ページの隈研吾さんの角川武蔵野ミュージアムですね。こちらは教科書を開けますと、「デザイン監修隈研吾」で、「出身地神奈川県」ということで記載がはっきり示してありましたので、載せさせていただきました。

【浄泉会長】

はい、では開隆堂の一番上はまた検討していただくということでよろしいですか。

【事務局（永野指導主事）】

はい。

御意見ありがとうございます。

【浄泉会長】

他に御意見等ございましたらお願いします。

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、事務局の方をお願いしたいと思います。

【事務局（山田指導主事）】

事務局から1点、先ほど重さの話がありましたけれども、重さに関してはかなりこちらの方でも複数回計測して、事実をこちらに表記しているということで、報告をさせていただきます。

【浄泉会長】

よろしいですか。

【岡崎一実委員】

はい。

【浄泉会長】

では、事務局の方、よろしくをお願いしたいと思います。

【事務局（山田指導主事）】

では2点、お諮りをしたいと思います。

まず1点目の、図画工作－6、参考①の神奈川県に関連する主な文章や写真・グラフ等の掲載について、どこの部分なのかというこちらの表記の統一については確認をしたいと思います。

続いて②の教科書の重量の枠の作り方、上下巻等の表記について、こちらの方で確認をしたいと思います。

以上2点対応したいと思いますですが、よろしいでしょうか。

【浄泉会長】

いかがでしょうか。

はい、それでは以上2点、よろしくをお願いしたいと思います。

それでは、図画工作の報告について、終わりにしたいと思います。お疲れ様でした。

【事務局（山田指導主事）】

全体について終わったらお話がありましたので、よろしいでしょうか。

【岡崎恵子委員】

ありがとうございます。午前部の表記のことで、3点あります。

まず1点目が、1のところの教育基本法、学校教育及び学習指導要領との関連の1個目の○に、3つの柱という表記ですが、文部科学省等で多くの場合、3が算用数字ではなくて、漢数字のことが多いかなと思ひまして、どこでどうされるのかというところが全体で統一されていませんで

した。

例えば社会－1を見ていただきたいのですが、3つ目の内容と構成というところで、何々しあうというところ、⑨番の紹介しあうの「あう」が平仮名で、⑩番の話しあうの「合う」が漢字でという形で、5教科等も見ても、何々しあうという表記が色々まちまちあるなと思ったので、何々しあうというのも揃えていただけたらなと思いました。

また、身につけるの「つける」もなのですが、音楽とかは「付ける」が漢字だったので、例えば社会－3ページの③番、「身につけよう」、これは表題になっているからかもしれないのですが、その他の部分も含めて、身につけるについても統一された方がいいのかなと思いました。表記については以上3点です。

それから、項目に関して思ったことが1、2、3、4と大きくあるのですが、内容と構成というふうに書かれているのですが、例えば社会－1ページ、他のところも比べて、今感じていることですが、3内容と構成というところに、例えば⑩番、「3～5章で構成されている」というふうに書かれているこの構成の部分は、教科書の全体の構成という意味で書いてあるのであれば、もしかしたら3の内容と構成の部分に入るのかなと思っておりまして。この⑩番の書きぶりは、各教科等に依じて、先ほどの図画工作のようにページ数があったりとか、総ページ数はなかったと思うのですが、1つずつの単元の、また題材のページ数が書かれていたりとか書かれていなかったり、また、何章という言い方で終わっていたりとかして、特色もあるとは思いますが、この構成をどういう意味で捉えているかによって、3番と4番のどちらに入るか、またふさわしい表記があるのかなと思いました。以上です。

【浄泉会長】

ありがとうございます。

今、御指摘いただいたところ、また検討の方よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、ここで昼食休憩に入ります。ちょっと延びております。再開の時間は御指示お願ひします。

【古島支援部長】

ありがとうございます。午前中の御検討ありがとうございました。

実はですね、専門調査員の皆さんが教員の皆さんですので、授業を調整して、時間で決めてこちらに来ていただくようになっています。

大変申し訳ないですが、あまり大きく午後の時間を変えることはできないので、予定の時間13時10分ですが、それを13時15分か、13時20分までで調整させていただければと思います。お昼の休憩の時間が短くなってしまいますが、皆さんいかがでしょうか。

【浄泉会長】

よろしいですか。

一応目標15分開始にさせていただいて、申し訳ないですが、御協力の方よろしくお願ひし

たいと思います。

それでは昼食の方に移ってください。よろしく申し上げます。

<昼休憩>

【浄泉会長】

それでは再開したいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、算数の調査研究の結果について報告をお願いいたします。報告書は自己紹介と調査研究の結果について報告をお願いいたします。

【報告者（算数専門調査員会代表者）】

では、算数の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【浄泉会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対しまして、御質問、御意見等を分けてお伺いしたいと思います。まず、御質問のある方、お願いいたします。

いかがでしょうか。

【藤井委員】

大変丁寧に色々見ていただきましてありがとうございます。それで、丁寧に見られた上でお考えがあるのかなと思ったところがございまして、⑧のカリキュラム・マネジメントに関して、それぞれ社会科との関連、家庭科、音楽科との関連での主体となっているかと思えます。それらを記載した理由や背景となるお考えについてお聞かせいただけたらと思います。

【浄泉会長】

それでは、調査員の方からお願いいたします。

【報告者（算数専門調査員会代表者）】

ありがとうございます。今回は、小学校の出口である5年生と6年生に注目して、各教科書会社で設定されたものをここにお示しさせていただきました。

【浄泉会長】

よろしいですか。

【藤井委員】

はい、ありがとうございます。もう少し、何か背景となる、他教科との関連の中で、これらの教科が選ばれている理由ですとか、算数との繋がりとして、何か選ばれた考えなどがあったりするのではないかと思いますので、それらのこともちょっと併せてお示しいただけたらというふうに思います。

【浄泉会長】

調査員の方でお願いします。

【報告者（算数専門調査員会代表者）】

この教科が選ばれたというか、この教科が事実として載っていたというような調査研究なので、何故そうなのかというところまではお示しできないのですけれども、この教科書会社には、これが設定されていたということです。

【浄泉会長】

いかがでしょう。よろしいでしょうか。

【藤井委員】

特に理由はないということですか。

【浄泉会長】

調査員としての理由は特にはないのだけど、その教科書に載っていたということでここに挙げられたという、これが理由だということによろしいですか。

【藤井委員】

分かりました。ありがとうございます。

【浄泉会長】

他に御質問ございますでしょうか。

それでは、御意見等ございましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。

【岡崎一実委員】

調査員の皆様、ありがとうございます。判型の型について、⑳番に、3者はA4とB5などと書いてある。ここに見本が、A4が載っていないのがあるのだけど、何を言いたいかという、A4とB5というのは、恐らく1年の最初だけA4。なので、各所にそういうふうにあった方が分かりやすいかなと思いました。

【浄泉会長】

どうでしょうか。

【事務局（齊藤指導主事）】

御意見ありがとうございます。おっしゃられる通りで、準備の段階で机に置いていなかったかと思うのですが、確かに委員のおっしゃられる通りで、お示しをさせていただいたA4については、算数の1年生の1番最初、上巻と言いますか、その段階のものがA4でお示しをされているところです。御指摘いただいた意見につきましては、検討させていただければと思います。ありがとうございます。

【浄泉会長】

よろしいでしょうか。

その他、御意見等ございましたらお願いいたします。

はい、お願いいたします。

【藤井委員】

確認ですけれども、大日本図書のところの⑥、『なるほど算数教室』という表記になっているかと思うのですが、『ふくろう先生のなるほど算数教室』というのが実際かと思うのですが、これは、どちらの方が正しくなりますでしょうか。

【浄泉会長】

調査員の方でお願いできますか。

【報告者（算数専門調査員会代表者）】

おっしゃる通り、『ふくろう先生のなるほど算数教室』ですが、この表記のところが、ふくろう先生が上にあるので、ここの掲載の仕方についてはまた検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

【浄泉会長】

その他いかがでしょうか。

そここのところの確認もお願いしたいと思います。

他に御質問、御意見等を踏まえて、御感想等でも構いませんが、いかがでしょうか。

【土肥委員】

算数は教科書がたくさんある中で、検討しながら作成するのが大変だったかと思います。プログラミングのことですが、比較しながら書かれていてよかったなと思い、読ませていただきました。その中で1点、⑭番の項目の児童の学習上の困難さへの対応についてのところですけども、全体的に学習した内容を振り返る学習活動が『たしかめ問題』ですとか『たしかめよう』に書いているという内容が書かれています。児童の学習上の困難さへの対応というところを考えたときに、たしかめのことを書くのが正しいのか、それとももうちょっと教科書の内容の、例えば中にくこうヒントみたいな吹き出しがついていたりですとか、何かそういった部分が恐らく教科書たくさんあるかと思うので、そこの方が、学習上の困難さへの対応により何か近い内容か、そのようになるのかなという印象を受けましたので、御検討いただければと思います。

【浄泉会長】

はい。それは検討していただくということでよろしいですか。

【事務局（齊藤指導主事）】

御意見の方ありがとうございます。文章の方は、今、御意見をいただいて整える必要も含めて、また検討させていただければと思うのですが、申し上げたいことは、ここに書かれた二重カギカッコの中に、どの会社においても、このページに戻ると、この学習に繋がっていくよということが示されていますので、そのことについて触れているというのが趣旨でございます。

【浄泉会長】

よろしいでしょうか。

その他、御意見ございますでしょうか。

では、事務局の方、よろしく願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

それでは、3点お諮りをいたします。

まず1点目が、それぞれの発行者の観点⑳、A4、B5についての学年の表記について検討をしたいと思います。

続いて、算数－2の『なるほど算数教室』の表記の仕方についても検討したいと思います。

3点目、観点⑭番の表記のあり方等についても併せて検討するという以上3点、対応したいと思いますが、よろしいでしょうか。

【浄泉会長】

いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、その3点お願いいたします。

それでは、算数につきましては、これで報告の方を終わりにいたします。大変お疲れ様でした。

【事務局（山田指導主事）】

よろしければ、後で事務局の方で教科書の入れ替えを行います。引き続き理科の方を始めたいと思いますので、後程入れ替えのときにまた対応させていただきます。

【浄泉会長】

それでは、理科の調査研究の報告をお願いします。報告者は自己紹介と調査研究の結果について報告をお願いいたします。

【報告者（理科専門調査員会代表者）】

では、理科の調査研究の結果について御報告いたします。(略)以上で報告を終わります。

【浄泉会長】

ありがとうございました。それではただいまの調査員からの報告に対しまして、御質問、御意見を分けてお伺いしたいと思います。

まず、御質問についてある方お願いいたします。いかがでしょうか。

はい。お願いいたします。

【岡崎一実委員】

調査員の皆さん、ありがとうございました。御苦労様でした。

2点、11ページの⑭番、単純な表記の問題ですが、6者の部分の冒頭ずっと同じで、上の2者だけ「過程など」、その下が4つ「など」がついてないが統一ができるか。⑭番の「学習の見通しや問題解決の過程など」が、2者についてはついていて、4者についてはついてない。意図があるかどうかということ質問させてください。

もう1つが、これまでの教科で気が付かなかったのですが、13ページの㉔番、最後の6者のうち、大日本図書以外は、色覚、カラーについて書かれていて、大日本図書だけじゃないのですね。

今、大日本図書を手元で見たら、確かに書いてないのですけれども、どこかにそういうものがなかったかどうか、或いは編集趣意書みたいなものがあるかもしれないのだけれども、ここだけないけれどきっと配慮されてるのではないか、その辺、何か分かることがあったら教えてください。

【浄泉会長】

それでは2点、調査員の方からお願いしたいと思います。

【報告者（理科専門調査員会代表者）】

まず⑭番の方ですけれども、御指摘ありがとうございました。これについては、今後、修正していきたいというふうに思っております。

それから最後の㉔番について、これについても検討させていただきたいというふうに思います。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございました。

それでは、「など」が入った方がいいのかどうかも含めて検討の方もお願いしたいと思います。それから、大日本図書の方も調査のお願いしたいと思います。

他にいかがでしょうか。

【松本委員】

ちょっと考え方を教えて欲しいのですけれども、理科－1ページの①のところで、単元を通して学習した内容をまとめる学習活動が『ふりかえろう』などに設定されているというふうにして書いてあって、教科書の『ふりかえろう』を見てみると、「どのようなくふうをして問題を調べることができたかな」また、「学んだことを、どのように次の学習や生活に生かすかな」というふうな吹き出しがついているのですけれども、これを知識・技能にした理由は何なのでしょう。学習の評価の観点から言うと、ちょっと違うのではないかなというふうな感じもするのですけれども、知識・技能にした理由を少し教えてください。

【浄泉会長】

はい、それでは調査員の方からお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

【報告者（理科専門調査員会代表者）】

習得に関わるものというふうにして捉えています。今御指摘いただいた通り、検討をさせていただきたいというふうに思います。

【浄泉会長】

よろしいでしょうか。

その他、御質問等ございますか。

お願いいたします。

【田村委員】

各教科書の内容と構成がよく分かる丁寧な御説明ありがとうございました。表記に関わることで、理科－9ページの3の⑧のところで、東京書籍だけカリキュラム・マネジメントの

ところのカギカッコが抜けているのですが、ここを表として揃える分にはカギカッコを追加するというでもいいと思いますが、他の教科を見ると、カリキュラム・マネジメントのところにカギカッコがないので、どういうふうに統一をするか教えていただきたいというのと、もう一つ表記の件なのですが、理科－８ページの２の④のところで、東京書籍と大日本図書と学校図書の、思いやる力のところがカギカッコになっていて、ここも他と同じく統一していいか、お伺いしたいです。お願いします。

【報告者（理科専門調査員会代表者）】

はい。どちらもなんですけれども、表記の方をカギカッコの方に修正させていただきます。

【浄泉会長】

そののところがよろしくお願いします。

他に御質問ございますか。

はい、お願いいたします。

【中本委員】

理科－９ページの３の⑧番を見ますと、他教科カリキュラム・マネジメントのところの工夫や配慮というところで、各教科書会社のところで算数の関連ということベースにしてというか、算数の関連というところを表記いただいているのですけれども、これを基にしながら、その後半部分のところで、それぞれの教科書の良さというところを細かく見ていただいているところがとてもいいなというふうに思いました。ありがとうございました。

ここは６者とも算数との関連というふうになっているのですけれども、これを算数というふうにした理由といたしますか、他の教科、ちょっと教科書を見るとちらっと、他の教科の、家庭科というところが載っていたりするのですけれども、そこではなく、算数だった意図というか理由がございましたら教えていただけたらと思います。お願いいたします。

【浄泉会長】

お願いします。

【報告者（理科専門調査員会代表者）】

これについては、調査員との話し合いの中で、算数という形での記載ということで統一させていただきました。もちろん色々な教科、当然理科との関わりの教科がたくさんあるかなというふうには思っておりますが、以上です。

【浄泉会長】

よろしいですか。

【中本委員】

はい。

【浄泉会長】

それでは、御意見の方も踏まえた中でお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

お願いします。

【岡崎一実委員】

理科－８ページ、観点の④。委員の皆さんには先ほど音楽の時にも話したことで、思いやる力の中の人権教育という言葉でいいのかなというのが、意見です。

６者とも人の誕生や生命の尊厳、胎児とか、赤ちゃんとかということが取り上げられているので、その上にある例示の６つか７つのうちの人権教育でなく、生命の尊厳とかいのちの大切さとかという方が、カギカッコの中に入れるものとしてはいいかなと思いました。

【浄泉会長】

はい、ではそちらの方も。

【報告者（理科専門調査員会代表者）】

検討させていただきます。ありがとうございます。

【浄泉会長】

他に御意見等ございますか。

【中本委員】

本当に細かいことを言ってしまって申し訳ないのですが、教育出版の資料Ⅰの３番の内容と構成のところで、⑫番がずれているように見えるのですが、揃えていただいた方がいいかなと思います。お願いいたします。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございます。

【若杉委員】

たくさん会社がある中で、調査されるのは大変だったと思います。ありがとうございました。私も非常に細かいところで大変恐縮なのですが、理科－３の２神奈川教育ビジョンとの関連の⑥番。１番下の行ですね、真ん中あたりに二重カギカッコの前に一つカギカッコがついているので、これについては無しで良いかなと思いました。以上です。

【浄泉会長】

御指摘ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

お願いいたします。

【藤井委員】

先ほど、理科－３のところの⑫番で、□と文書のずれの指摘があったかと思うのですが、理科－４の⑩のところも若干ずれているかと思うので、こちらの方も修正いただければよろしいかと思えます。以上です。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございます。

その他ございますか。よろしいですか。

細部にわたっていただきありがとうございます。

では、事務局の方、よろしくお願いします。

【事務局（山田指導主事）】

それでは10点ほどお諮りをいたします。

まず1つ目が、理科－11の⑭番の観点。上2つだけに「など」がついている、この「など」の表記の統一について確認をしたいと思います。

続いて、それぞれの発行者における⑳番の観点、色覚についての対応。こちら、趣意書を含めて確認をしているところでございます。また改めて確認をしたいと思っています。

続いて、理科－1の①、ふりかえりの内容について検討したいと思います。

続いて、理科－9の⑧、カリキュラム・マネジメントのカギカッコの有り無しの表記について統一をすべく確認をしたいと思います。

続いて、理科－8の④の思いやる力、こちら、カギカッコではなく、コの字のカッコを使うということを統一で、こちらの方は表記で確認をしておりますので、こちら統一をしたいと思いません。

続いて、理科－8の④、午前中も御指摘をいただきました人権教育の表記について、どちらを書いていくかということについてはまた改めて検討したいと思います。

続いて7点目、理科－2の⑫番の位置のずれについて、こちらは修正をします。

続いて、理科－3の⑥、二重カギカッコの前に一重カギカッコがついているものについては修正をいたします。

9点目、理科－4の⑩番の位置のずれ、修正をいたします。

最後に10点目、理科－6の⑩番についても、位置のずれがありますので、こちらを修正します。以上対応したいと思いますよろしいでしょうか。

【浄泉会長】

いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、理科について報告を終わりたいと思います。大変お疲れ様でした。

【事務局（山田指導主事）】

お時間の関係上、教科書の入れ替えが終わりましたらすぐに行いたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

【浄泉会長】

よろしいですか。

それでは、生活の調査研究の報告をお願いします。報告書は自己紹介と調査研究の結果について報告をお願いいたします。

【報告者（生活専門調査員会代表者）】

では、生活の調査研究の結果について御報告いたします。(略)以上で報告を終わります。

【浄泉会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対しまして、御質問、御意見等を分けてお伺いしたいと思います。まず御質問がある方お願いいたします。

いかがでしょうか。

それでは、御意見等も踏まえた中で、何かありましたらお願いいたします。

【岡崎一実委員】

最大の7者、全部見られていて、本当にありがとうございました。2つありまして、1つは先ほどと同じ15ページの㊸番、大日本図書と光村図書出版には色覚の表記がないですが、これについて、また、検討していただければと思います。

もう1つはその次のページ、16ページ、神奈川に関するものを列挙していただき、まず、2年、2年、1年という表記は上・下の方が良いのではないかというふうにと思いました。

そして、今、書かれているページの二次元コードを辿ったら本当に載っていて、これ全部調べられたのですね。二次元コードの先まで御苦労様です。今までの教科書多分なかったのですけれども、何を言いたいかという、例えば1番上の2年 7ページ「相模の大凧まつり（相模原市）」と書いてあって、二次元コードと書いてあるところは、教科書本文にはありませんでした。そのページの二次元コードを辿ると、中身があるという。その次の段のひらつか七夕まつりは二次元コードと紙面で教科書には載っていて、さらに二次元コードの先にもあったという、そういう違いがあって、ここまで見ておられてすごく大変だったのだろうなというふうに思いました。そういうことが、この表記で分かるような何か書き方があるとどうかなというふうに思いました。二次元コードって書いてあって、その先に載っていましたということは、何かわかる言い方があったらどうかというふうに思いました。

【浄泉会長】

ありがとうございます。

何かそこら辺苦労されたと思うのですが、どうでしょう、もし何かありましたら。

【報告者（生活専門調査員会代表者）】

たくさんあったので、調査員皆で手分けをして頑張りました。正直、私はちょっと二次元コードのところは別の方で、そこまでたどり着けずに、という感じです。

【浄泉会長】

ありがとうございました。

あと、検討するところはお願いしたいと思います。

他にいかがでしょうか。

はい、お願いいたします。

【土肥委員】

生活－２の⑧のところですか。カリキュラム・マネジメントのところでは道徳科と関連してあるのですが、正式には特別の教科 道徳という表記になるのかなと思います。

もう１点が、生活－５です。④番のところの思いやる力のいのちの大切さについてのところが、自分が生まれた時の親の気持ちをインタビューする活動ということで、もちろん教科書にそこが載っている部分ではあるのですが、できれば他の教科書と同じように、生き物を扱うところですか、植物ですかね、その辺りを並べて記載した方がいいのかなと思いますが、今ちょっとこの御時世、親の気持ちというところは配慮が必要なところかなと思いますので、よろしくお願ひします。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございます。

今の２点についても検討していただくということでよろしいでしょうか。

【報告者（生活専門調査員会代表者）】

はい。

【浄泉会長】

では、よろしくお願ひいたします。

【中本委員】

本当にたくさんの教科書会社の中で細かく丁寧に見ていただいてありがとうございました。意見というか、確認ですけれども、生活－５ページの３の内容と構成のところの⑭番なのですけれども、児童の学習上の困難さへの対応のところ、活動中の安全というのが挙げられているのですが、これは、低学年ということなので安全に配慮してという、発達段階のことがあるのかなという感じで、そうかなと思ひましてちょっと確認でした。

これは細かいことを言ひて申し訳ないのですが、生活全般に、生活科は低学年しかありませんけれども、資料Ⅰの１番上のところに署名の表記は「第６学年のものに統一」というのが入っていますので、これはもう全体として、教科にかかわらず全部記載していくのか、それとも生活科だけ抜くのか、何かちょっと混乱を招きそうだなと思ひましたので、お伝えさせていただきました。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございます。

活動中の安全というところで何かございますか。

【古島支援部長】

補足させていただきますと、ここのイラストの部分が、校外の学習に出るときの、低学年ならではの多様なお子さんを想定したようなイラストがありまして、それをイラストで表すことで子

どもが理解しやすいような配慮がなされているというふうに把握しました。

【浄泉会長】

そういう確認でよろしいでしょうか。

【中本委員】

はい、ありがとうございます。

【浄泉会長】

上の表記については、また検討をお願いしたいと思います。

他にいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、事務局の方、お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

では6点、お諮りをいたします。

1点目、生活－15、色覚の部分について、改めてこちらも趣意書等、もう一度確認をしたく思います。

続いて、生活－16、参考の①について、こちら上・下巻について、その表記、改めて確認をしたいと思います。

3点目、同じく生活－16の二次元コードについて、今回、皆様のお話しの中でありました、二次元コードのリンク先まで神奈川の題材を確認すると、かなり膨大な量と、そこからさらに行った先にあったかというようなことがあると、確実にそれが見つけられるかというところが、かなり難しい部分が正直ありました。そういうこともありまして、今回、神奈川に関する主な文章やグラフ等の掲載というところに、すべてそこで紙面は確認できますけれども、そのリンクした先まで全部こちらが確認できるかどうか、そして、本当に行った先が全部見られるのかどうかというところも、かなり難しいという状況がございます。この二次元コードで見つけられるところと、すべて書けるかどうかというところについても改めて確認をしたいと思っております。

続いて4点目、生活－2の⑧、道徳科、或いは特別の教科 道徳、表記を確認したいと思います。

続いて、生活－5の④の観点、こちらの表記の内容については、一度検討ということで。

最後6点目です。それぞれの資料Ⅰの米印の上、「6学年のものに統一」と書かれてあるものを、こちら削除のことも含めまして、検討させていただきたく思います。以上、対応したいと思います。よろしいでしょうか。

【浄泉会長】

よろしいですか。

それでは、6点お願いいたします。

それでは、生活についての報告を終わりにいたします。大変お疲れ様でした。

【事務局（山田指導主事）】

それでは教科書の入れ替えを行います。少々お時間をいただきます。

【浄泉会長】

よろしいでしょうか。

それでは、家庭の調査研究の報告をお願いいたします。報告書は自己紹介と調査研究の結果について報告をお願いいたします。

【報告者（家庭専門調査員会代表者）】

では、家庭の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対しまして、御質問、御意見を分けてお伺いしたいと思えます。まず、御質問られる方をお願いいたします。いかがでしょうか。

それでは、御意見等も踏まえてお願いしたいと思えます。いかがでしょうか。

よろしく申し上げます。

【岡崎一実委員】

本当に御苦労様でした。丁寧な御説明もありがとうございました。調査員というより、どちらとかいうと事務局かな。最後の参考資料の重さのところ、1.5倍違うのはこれまでなかったのですが、ページ数見たら同じなのですね。そうするとこの資料だけ見るとびっくりするのだけど、ページ数の表記があったらどうかなというふうに思いました。御検討をお願いします。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございます。

今の点は御検討いただくという形でお願いしたいと思えますが、よろしいですか。

【岡崎一実委員】

はい。

【浄泉会長】

他に、御意見等ございましたらお願いしたいと思えます。

【林委員】

家庭－1の東京書籍の内容と構成のところの⑫番は、中学校の学習内容の関連のある内容を示す『リンク』マークとなっているのですが、これは中学校の技術・家庭、家庭分野の学習内容ということ省略されて書いているのでしょうか。家庭－2の方は、同じく⑫のところ、中学校技術・家庭「家庭分野」のつながりがというふうになっていますので、もし、支障なければ同じような表記にしていただければと思うのですが。

【浄泉会長】

特によろしいですか。

【報告者（家庭専門調査員会代表者）】

はい。反映させたいと思えます。

【浄泉会長】

その表記も併せていただくような検討でお願いしたいと思います。

他にいかがでしょうか。特によろしいですか。

では、事務局の方、お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

まず、お話しをいただいたページ数の表記についてですけれども、これまで重さを表記しておりましたのは、いわゆる子どもの持ち帰りをする荷物の重さに配慮して、こちらを記載しているということがございました。ページ数も重さの方にかなりいろいろなことが着目されるだろうというところがありましたことを、まずはこちらの方でお話しをさせていただきます。

もう1点、家庭科－1において、⑫番の観点の表記の仕方、中学校の表記の仕方について、こちらの方で検討したいと思いますが、よろしいでしょうか。

【浄泉会長】

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、家庭につきましては、これで報告を終わりにしたいと思います。どうもお疲れ様でした。

続きまして、保健の調査研究の報告をお願いします。報告者は自己紹介と調査研究の結果について報告をお願いいたします。

【報告者（保健専門調査員会代表者）】

では、保健の調査研究の結果について御報告いたします。(略)以上で報告を終わります。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対しまして、御質問、御意見等を分けてお伺いしたいと思います。

まず、御質問のある方はお願いいたします。いかがでしょうか。

お願いいたします。

【鈴木委員】

報告ありがとうございました。保健－3ページのところ、大修館書店の教科書について、1つ質問をさせていただきます。⑩番の伝統や文化に関する教育の充実についてというところで、思春期のからだの変化の学習に、金子みすゞの詩『私と小鳥と鈴』が掲載されていると書いてあるのですが、ちょっと他の教科書会社と記載を比較すると、これをもって、伝統や文化に関する教育の充実にどう繋がるのかがちょっと分かりづらいところがあるかなと思うので、少し補足の説明をいただければと思います。お願いします。

【浄泉会長】

それでは、調査員の方からお願いします。

【報告者（保健専門調査員会代表者）】

他の教科書の方はですね、例えば文教社の方では、華道のことについてですとか、あと大日本図書の方では、お食い初めですとか、日本の文化のことについてイラストが載せられていたのですけれども、そちらと見比べていくと、写真、イラストというよりは、この詩を取り上げているというところが、こちらの大修館書店の特徴的なところであったかなというふうに思いまして、日本の文化というところで、詩を取り上げているというところで、ここは、これが取り上げられてということで調査員会の方では話が上がりました。

【浄泉会長】

からだの変化の成長の学習とこう何か調査をされて、結びつきとかそういうのは感じられたかどうかという点もお話いただけるとありがたいのですが。

【報告者（保健専門調査員会代表者）】

教科書の方にも書かれているのですけれども、みんな違ってみんないいというところに関して、やっぱり体の成長やこれから思春期のところについては、やはりすごく、どうしても個人的に差があって、友達と比べた時に、何か自分は駄目なのかなみたいなふうに考えてしまうところの中で、この詩を読んだときに、みんな違っていいんだなと、自分もそれいいんだなということが分かるような表記になっていたかなというふうに思いまして、載せさせていただきました。

【浄泉会長】

いかがでしょうか。

【鈴木委員】

詩が掲載されているから、伝統文化というところに繋がるという考えになったという御回答ですかね。

【事務局（小林指導主事）】

各者、伝統の文化が取り上げられているところに限りがございます、先ほど申し上げたように、雪合戦というの、日本固有の文化ではないのですが、そうした遊びの中から、健康に繋がっていくというところで、今でも昔からという観点で見えております。確かに、伝統と文化というところにもかかってくると思うのですけれども、大修館書店については、華道やお食い初め、雪合戦に倣うようなところがなく、その文化人というところも含めつつ、参考になるものはないかという観点でも見ていたというところがあります。以上でございます。

【浄泉会長】

よろしいでしょうか。

他に御質問等ございますでしょうか。

【鈴木委員】

続けて申し訳ありません。保健－4ページ、文教社の⑫番、学校段階間の円滑な接続というところの記載ですが、中学校の生活や心構えを警察官からのメッセージで取り上げたというところ

で、実際その教科書にどんな繋がりがというのを見てみると、警察官の仕事の説明と、それから中学生になったらの心構え的なことが記載されています。やはり、他の教科書会社と比較をすると、他は何て言うのでしょうか、学習内容のところに、そこを意識して学びの連続性という意味で、小学校でもここが扱われていますということになっているのですが、ちょっとここだけ質が違ってしまうというのが何故なのかというと、多分先ほどと同じようなお答えになってしまうと思うのですが、補足の説明があればと思いますので、よろしくお願いします。

【報告者（保健専門調査員会代表者）】

おっしゃる通りで、他の教科書のところについては、中学校ではこういうふうに習いますというような記載がされているのですが、こちらの文教社に関しては、そちらを今探していたのですが、やはりこの部分のところというところで挙げさせていただいたということになり、調査員会の方でも、ここを無理にこじつけた感じではありました。

【浄泉会長】

よろしいですか。

他にいかがでしょうか。

【松本委員】

今のお話ですと、関係あるのはなるべく載せようという理解でよろしいですか。3ページの「中学生になってたばこを勧められたらどうやって答える」というのが載っているのはすごい違和感があるのですけれども。だけど、それは関係するというふうな範疇で広く考えて、載せているというふうな理解でよろしいですか。

【浄泉会長】

はい、お願いします。

【事務局（小林指導主事）】

お答えします。御意見、御質問ありがとうございます。その教科にそのまま繋がっていくようなところであれば、当然記載の対象になってくるのですが、今おっしゃったように、自分が生活していく中で、これから来年、再来年、中学生になった時に起こり得るであろうことを想定しながら、ロールプレイングするなど、そういうところも含めて、先に繋がっていくような学習というような捉え方で記載させていただいたところでございます。

【松本委員】

分かりました。

【浄泉会長】

他にいかがでしょうか。

では、御意見等も踏まえてお願いします。いかがでしょう。

【若杉委員】

保健-15 ページの参考のところ、文教社のところですけども、竹澤健介さんのインタビュー

ということになっています。教科書を確認したり、自分もちょっと不勉強だったので調べてみたのですけれども、箱根駅伝に出場されたという、ちょっとそういった記載が自分の中で見つけれなかったのも、もしかしたらよく調べていただいたのかなというふうに思いますし、出身も兵庫とか、記載のところに箱根駅伝というのも見当たらなかったのも、もしかしたらその公正・公平というところに入れられたのかなという気もするのですが、特にあまり関係なければ抜いてしまってもいいのかというところ、事務局の方での検討もあると思うのですが、自分としては無くてもいいのかなというふうに思いました。

【浄泉会長】

ありがとうございます。

ここに載せられた状況についても、もし説明がつくようでしたらお願いします。

【事務局（荒居指導主事）】

御意見ありがとうございます。

箱根駅伝に出ていると調べています。教科書の中には記載がないのですが、何とか1者だけ神奈川のもが見つかるようにと思って色々とした結果、箱根駅伝に出場しているというところでは、ここに掲載するかどうかに関しては、他教科との絡みもあると思いますので、事務局の判断に従っていきたいと思っております。ありがとうございます。

【浄泉会長】

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

【林委員】

先ほど生活科の方で確認があったので、もう1回確認ですけれども、道徳科という表記がありますので、これは、特別な教科 道徳という事でよろしいでしょうか。

もう1点ですけれど、保健-1と保健-5のところ、2のかながわ教育ビジョンとの関連の④ですが、イラストや写真で、性別や国籍、車椅子などのキャラクターというふうに書いてあるのですが、この「車椅子などのキャラクター」という表現の仕方がちょっと乱暴かなと。例えば、車椅子使用者とか、車椅子の使用とかというふうにさせていただいた方がいいのかなと思いました。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございます。

ここについても、検討していただきたいというふうに思います。

他にいかがでしょうか。

【岡崎一実委員】

各教科・種目別の観点、趣旨は、この3年間の感染症の広がりが教科書に触れているかどうかを知りたい。1番関わりがあるのは保健かなと思うのですが、あるとすれば⑩、⑪、⑫のどこかに、各教科・種目別の観点で書かれるのかなと思います。何かあったかどうか教えていただけます

か。

【報告者（保健専門調査員会代表者）】

新型コロナウイルス感染症に関する記載は、どの教科書にも5、6年生の教科書に入っていました。

東京書籍に関しては、「感染症の予防 新型コロナウイルス感染症」というタイトルで入っています。大日本図書については、「感染症の予防 新型コロナウイルス感染症と暮らしの変化」という記載で入っています。大修館書店は「感染症の予防 新型コロナウイルス感染症との経験から学ぶ」文教社が「けんこうによい生活かんきょう 新がたコロナウイルス感せんしょう対さく」という形です。光文書院が「感染症の予防 新しい感染症～新型コロナウイルス感染症～」Gakkenからは、「病原体と病気 新型コロナウイルス感染症/食中毒」という形で、すべての教科書に新型コロナウイルス感染症について記載されていることは確認しております。

【岡崎一実委員】

出ているとすれば、教科書に触れられているというのが⑰とか⑱辺りに記載される内容かなというふうに思いましたので、御検討くださればと思います。

【浄泉会長】

その内容についても、検討するというごことをお願いしたいと思います。

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、事務局の方、よろしくお願ひしたいと思います。

【事務局（山田指導主事）】

それでは6点、お諮りをいたします。

まず、保健－3の⑩番について、金子みすゞの詩について、気になるという御意見がありましたので、改めて検討というふうなところが1点目。

2点目、保健－4の⑫番、こちらも趣旨は置いておいて、表記の部分で検討ということ。

続いて、保健－3の⑫番、こちらも、これを取り上げ続けるかどうかというところも含めて検討と。

続いて、保健－15、神奈川県に関する人物について、このまま取り上げるかどうかを含めた検討。

続いて先ほどもお話がありました、道徳科、特別の教科 道徳の表記について確認をいたします。

続いて、保健－1と保健－5の車椅子のキャラクターという表記の仕方についても、検討をいたします。

最後に、感染症について、表記できるかどうかというところについて検討するというごことについて対応したいと思います。よろしいでしょうか。

【浄泉会長】

いかがでしょうか。

それでは、そのような形でよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、保健につきまして報告の方を終わりにしたいと思ひます。お疲れ様でした。

【浄泉会長】

それでは、ここで休憩を挟みたいと思ひますが、大変短くて申し訳ないのですが、10分の休憩を取らせていただきたいと思ひます。

40分に開始できればと思ひますので、よろしくお願ひします。

【事務局（山田指導主事）】

先ほども御案内差し上げました学習者用デジタル教科書の英語について、よろしければ、また事前に御覧いただけるとありがたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

【浄泉会長】

それでは再開したいと思ひます。

外国語の調査研究の報告をお願ひいたします。報告者は自己紹介と調査研究の結果について報告の方お願ひいたします。

【報告者（外国語専門調査員会代表者）】

では、外国語の調査研究の結果について御報告いたします。（略）以上で報告を終わります。

【浄泉会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対しまして御質問、御意見等分けてお伺ひしたいと思ひます。まず、御質問等ございましたらお願ひします。いかがでしょうか。

それでは、御意見等も踏まえた中でお願ひしたいと思ひます。いかがでしょうか。

【佐々木委員】

字数が限られている中、英語で記さなければいけないということで御苦労されたのではないかなと思ひますが、公平性を保ちながら、特徴の方を記されているなど感じました。

2点あります。1点目ですが、資料Ⅱの方ですが、英語の中に全角で示されている部分が見つかりました。資料Ⅱの①、④番の教育出版の部分、全角のスペースがあったり、カンマが全角になっていたり、資料Ⅱの⑥、⑨番の啓林館の部分、スペースの部分がちょっと大きくなっていたりというところがあったので、考えていただけるといいかなと思ひます。

2つ目ですが、資料Ⅱの⑮番のところにもあります。学習者用デジタル教科書が今回注目されていると思ひます。調査した上で、この学習者用デジタル教科書に関してもう少し情報があれば教えていただけたらなと思ひます。よろしくお願ひします。

【浄泉会長】

お願ひします。

【報告者（外国語専門調査員会代表者）】

御指摘ありがとうございました。1点目については、申し訳ありませんでした。こちらの方で調査して、それを記入する際に全角と半角のところでミスをしてしまいました。申し訳ございません。

2点目に関して、学習者用デジタル教科書についてなのですが、どの教科書もかなり二次元コードを拡充してまして、各者の工夫をされています。具体的に申しますと、紙媒体と学習者用デジタル教科書を比較しますと、メリットとしては、まず、繰り返しネイティブスピーカーの音声を聞くことができる。そのために正しい発音やイントネーションなど、これから身に付けていく小学生にとってはとても重要なことだと考えますけれども、そちらを繰り返して聞くことができるということと、それから、視覚的な動画であったり、イラストであったり写真ということで、非常にそういった視覚的なコンテンツも充実していますので、さらに紙媒体な形として、子どもたちの思考を助けるというふうになっていると考えます。

さらに、個別最適化の学習ということで、新しい資料がありますけれども、家に帰っても、授業中だけではなく、家庭学習の際、再現性というところで非常に高い水準のものを自分のペースに合わせて学習できるということがメリットと考えます。以上です。

【浄泉会長】

よろしいでしょうか。

1点目については、しっかり確認した上で検討をお願いします。

他にどうでしょう。

お願いいたします。

【若杉委員】

どうもありがとうございました。自分も本当に公平性を保たれていて、非常に分かりやすくまとまっているなと思いました。ありがとうございます。

ちょっと質問にもなってしまいますのですが、開隆堂だけが分冊という形になっていたかと思うのですが、この辺りの何かこう、調査するにあたって、分冊の扱いですね。特に何かこう表記の中ではなかったのですが、このあたりで何か議論されたようなことがあれば、教えていただきたいなということが1点あります。

あと、もう1点が、英語－5ページの3内容と構成の⑩番ですけれども、最後の辺りの二重カギカッコのところですね、「行こう」のところが、教科書を自分が確認した時には平仮名で「いこう！」でびっくりマークがついていたかなと思いますので、確認をお願いできればと思います。以上です。

【浄泉会長】

よろしくをお願いします。

【報告者（外国語専門調査員会代表者）】

ありがとうございます。調査する際には、別冊については議論いたしました。やはり語彙で、

単語について、別冊で子どもたちにとって使いやすいような形にしている会社がございます。ただ、他の各教科書会社も巻末に単語の記された基礎的な覚書が記載されたものもございますし、各者そういう意味では、分けた方が子どもたちにとって学びやすいか、もしくは巻末に綴じた状態の方が学びやすいのかということを検討された上で、このような形になっているというふうに調査研究会の中では話し合いました。

2点目については、大変申し訳ございません。こちらの方の表記を正しく記載することができませんでしたので、訂正したいと思います。御指摘ありがとうございます。

【浄泉会長】

ありがとうございます。他にどうでしょうか。

御意見をお願いします

【岡崎一実委員】

どうもありがとうございます。

今の別冊、分冊は、御質問は別冊であったのですが、私は分冊のことで、各者16ページの⑩番について、特色を出して、公平性を保つということ、書かないよりも書いた方が特色が見えるかなという気がするのですね。この会社は1冊ずつに。この会社が2冊ずつ4冊になっている。この会社は、2冊プラス別冊がある。それなら優劣にはならないような気がするの、書いたらどうかなというのが意見です。事務局の判断になるかと思いますが。分冊があるのが東京書籍と三省堂です。

それから、8ページの④番、思いやる力の人権教育という枠組みがずっと気になっているので。県のホームページを見て、神奈川県が言う人権教育の守備範囲を見たら、当たらないこともないとは思いますが、今回取り上げられているアイヌから金子みすゞまでを全部網羅するとしたら、人権教育がいいのか、他の見出し、共生とかの方がいいのかというのは、これも検討されるのかなと思います。

併せて、そのページの、8ページの光村図書出版の記述の中の「友人紹介として人種を取り上げた」というのはたぶん人種ではないかな。今ざっと見ただけでも、人種として紹介しているのではないように感じるのです。これを検討していただければと思います。

【浄泉会長】

はい。ありがとうございました。

それでは、ここは事務局の方で判断していただくということで、検討していただくということでもよろしいですか。

その他ございますでしょうか。

お願いいたします。

【中本委員】

イラストや写真が多い中、すごい細かいところまで探してくださっているなということが、英

語-17 ページの参考のところでも分かりまして、ちょっと私も気になって、どこにあるのだろうと思って探してみたのですが、ちょっとごめんなさい質問になってしまうかもしれないのですが、私の見方が下手くそなのか、教えていただきたいのですが、教育出版が ONE WORLD ですよね。第5学年の 66 ページに、イラストというのが見つけれなくて、合ってますか。これが、第5学年の 66 ページに鎌倉の大仏のイラストがある。

【報告者（外国語専門調査員会代表者）】

66～68 まで、名所・名物マップの見開きのページ数で言うと、やはり 68 ページになります。申し訳ございません。

【中本委員】

それで、ここの区切りがちょっと、もう少し分かりやすいといいかなと思ひまして、その中華街の写真が、何学年の何ページにあるのか。その学年ごとに区切って見れば良いのか、ページ数がどこにかかっているのかがちょっと私が見つけれなくて、分かりやすく表記をしていただくと、これだけたくさん良いイラストとか写真があるので、検討いただけるといいかなと思ひました。すみません細かいことで。

【報告者（外国語専門調査員会代表者）】

申し訳ございません。ありがとうございます。

【浄泉会長】

こちらの表記の方も分かりやすく、ちょっと検討していただくということをお願いしたいと思います。

他にいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、事務局の方をお願いしたいと思います。

【事務局（山田指導主事）】

では6点お諮りをいたします。

1つ目が、英語-7、或いは9の全角スペースになっているところ、この全角スペースをもう一度こちらで確認して、修正をしたいと思ひます。

2点目、英語-5の⑫番、こちら「行こう」の先ほどの表記について確認、必要に応じて修正をしたいと思ひます。

3点目、英語-16の⑳番、別冊、分冊の表記をするかしないかということも含めて検討をしたいと思ひます。

4点目、英語-8、先ほどからあります人権教育についてもこちらの方で確認をして、検討したいと思ひます

5点目、英語-8の④の観点、光村図書出版の「人種を取り上げた」こちら確認をしたいと思ひます。

最後6点目、英語-17の題材に関連した神奈川に関する主な文章や写真グラフ等の掲載の区切

り方についてはこちらの方で確認をして修正をしたいと思います。以上7点、対応したいと思いますがよろしいでしょうか。

【浄泉会長】

いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、外国語英語につきまして報告を終わりにしたいと思ひます。大変お疲れ様でした。

それでは、特別の教科 道徳の調査研究の報告をお願ひいたします。報告者につきましては自己紹介と調査研究の結果について報告をお願ひいたします。

【報告者（特別の教科 道徳専門調査員会代表者）】

では、特別の教科 道徳の調査研究の結果について御報告いたします。(略)以上で報告を終わります。

【浄泉会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの調査員からの報告に対しまして、御質問と御意見等を分けてお伺ひしたいと思ひます。

まず、御質問のある方はお願ひいたします。いかがでしょうか。

併せまして、御意見等を踏まえてお願ひいたします。

いかがでしょうか。

はい。お願ひいたします。

【松本委員】

資料-15、神奈川の資料は積極的に取り入れた方がいいなどは思ひますけれども、学校名までは記載は必要ないのではないかなと思ひます。教科書にも出身高校名は出ていませんので、東京書籍のさかなクンの出身校は削ったほうがいいのではないかなというふうに思ひます。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございます。

そのところは、また事務局で検討していただく形でよろしいですか。

他にいかがでしょうか。

はい。お願ひします。

【岡崎一実委員】

御苦勞様でした。

14 ページの㊸番、光文書院と Gakken の記載が反対のようなので、御確認ください。

気になって調べましたが、ユニバーサルデザインという中には書けば配色も含められているように、定義がいくつかありました。ただ、前の教科で私が言ったときに、ユニバーサルポイントとかユニバーサル書体と書いてあったときには、書体の問題だけだったので、配色は含まれてい

ないようであります。

それから、感想というか、道徳科なので、ずっと言っていた④番の人権教育、これが人権教育とカギカッコでくくってもぴったりかなというふうに思いました。以上です。

【浄泉会長】

はい、ありがとうございます。

それでは道徳-14 ところの確認もお願いしたいと思います。

その他ございますでしょうか。

はい。お願いいたします。

【中本委員】

たくさんの教科書がある中で、細かく見ていただきありがとうございました。

1点だけ。道徳科の6 ページですけれども、確認ですが、表記の問題だけです。2のかながわ教育のところ、⑤番が切れて、⑥番が重なっているところと、⑥番が見切れておりますので、御確認いただきましてお願いいたします。以上です。

【浄泉会長】

そのところは修正、確認をお願いします。

他にいかがでしょうか。

【藤井委員】

教科書の表記のことについて、国語のところでもお伝えしたことがあるのですが、道徳科におきましても、教材なのか、学習活動なのかというのが、二重カギカッコのみでなかなかちょっと見分けが付きにくいかと思っておりますので、少し分かるような表記方法を御検討いただけるとよろしいのではないかと思います。教材名が書いてある場合と、教材名ではなくて、教科書の中の学習活動のようなものとして表記されているものと同じ二重カギカッコで書かれてありますので、もう少し分かるような表現がもしあれば御検討いただけたらと思います。教材名は教材名として分かる方がよろしいのではないかというふうに思います。

あともう1点ですけれども、ユニットという表現で、教科書の方で同じ色でくくっているものをまとめられているかと思うのですが、それについては共通理解がされているという認識でよろしいでしょうか。教科書の方でそんな表記がないので、記載上ユニットという表現が使われていないかと思うのですが、まとめて書いてあるものについてはユニットという表現で統一しているという認識は共通であるという理解でよろしいですか。

【浄泉会長】

もしその点について、調査員の方からありましたらお願いします。

【事務局（安齋指導主事）】

おっしゃる通りで、明らかにユニットか項目か分かりやすくなっているものに関してはユニットで、ちょっと関連させているのだけれども、はっきりとそう書いてない場合はユニットという

のは外して表記しています。

【藤井委員】

はい、ありがとうございます。

【浄泉会長】

あと、御指摘いただいた教材活動等の区別が分かるような表記があれば、御検討いただければと思います。

他にいかがでしょうか。

はい、お願いいたします。

【黒岩委員】

ありがとうございました。

道徳－８の⑥番。教育出版の一行目に、句読点が２つ。気が付きましたので、お願いします。

【浄泉会長】

ありがとうございます。そのところも修正をお願いいたします。

他にございますでしょうか。

はい、お願いいたします。

【藤井委員】

非常に些細なことですが、道徳－１５のところの神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載のところで、教育出版のところ、改行が入ってしまって、５年生のところが三行に渡ってますけど詰めてしまえばよろしいのではないかと思います。以上です。

【浄泉会長】

ありがとうございます。そのところも、修正の方をお願いいたします。

他にいかがでしょうか。

【田村委員】

細かい表記の件ですが、道徳－１１で⑬の情報活用能力の育成のところ、Gakkenの部分だけSNSの文字が半角になっていて、他は全角になっているのでこの統一をお願いします。

【浄泉会長】

そちらの方も確認をお願いしたいと思います。

他にいかがでしょうか。

はい、お願いいたします。

【林委員】

表記の問題です。

道徳－１４ ページの⑳番。光村図書出版のところで「全てのページについて専門家による校閲を行ってお。」で終わっているのですが、確認をお願いします。

【浄泉会長】

そこのところもよろしいでしょうか。お願いします。

㉑の光村図書出版ですね。

はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、事務局の方、お願いいたします。

【事務局（山田指導主事）】

では9点、お諮りをいたします。

まず1点目、道徳-15番、神奈川に関連する人物の出身校については削除等を含めて検討したいと思います。

続いて、道徳-14番、㉑の観点、光文書院とGakkenが逆なのではないか確認したいと思います。

3点目、ユニバーサルデザインの定義等については、またこちらの方でも確認をしたいと思っております。

続いて、道徳-6番の⑥、三行分、表示しきれていないところを修正をさせていただきます。

続いて、二重カギカッコ、教科書の表記、それから教材活動等のその違い等については、それが違いとしてできるかどうかも含めて検討させていただければと思います。

続いて、道徳-8番の⑥、点が2つ続いているところ、訂正をさせていただければと思います。

続いて7点目、道徳-15番の①、題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真から等の掲載の教育出版の部分について、改行の部分、見やすいように修正をしたいと思います。

続いて、道徳-11の⑬番のSNSについては、こちら、基本的には表記の際には半角というふうな統一でやっておりますので、こちらの方も修正をいたします。

最後に9番目、道徳-14番の㉑、光村図書出版の表記が途中になっているところを修正したいと思います。以上対応したいと思いますがよろしいでしょうか。

【浄泉会長】

いかがでしょうか。よろしいですか。

それではその形でお願いします。

それでは、特別の教科 道徳につきまして報告の方終わりにしたいと思います。大変お疲れ様でした。

それでは、以上をもちまして、すべての教科種目の報告及び審議が終了いたしました。総括的に何か御質問等ございましたらお願いいたします。

はい、お願いします。

【藤井委員】

質問はですね、参考で題材に関連した神奈川県に関する主な文書や写真・グラフ等の掲載につきまして、二次元コードでの記載をすべての教科で全部見るのか、特定の教科だけにするのかという基準がもう決まっているのであれば教えていただきたいということが1点です。

あと、記載の文字のフォントが英語に関してはゴシック体になっていますかね。英語-17の、

例えば記載の文字フォントと生活-16の文字フォントが異なっておりますので、こちらも統一されてもよろしいかと思えます。

二次元コードのことについて、もし決まっているのであればちょっと教えていただけたらと思えます。

【浄泉会長】

事務局お願いします。

【長田子ども教育支援課長】

私の方から回答させていただきます。神奈川県に関わる場所の二次元コードにつきましては、リンク先がすべて追えるかという問題や、またさらにその先に繋がって、そこまで追いかけるのかという課題がありますので、原理原則としては、二次元コードの部分は、今回は掲載はしないという整理で、すべての種目を統一したいと考えております。よろしく申し上げます。

【浄泉会長】

よろしいでしょうか。

【藤井委員】

分かりました。ありがとうございます。

【浄泉会長】

そういう形でお願いしたいと思えます。

あと、フォント関係については、また確認の方をしていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

他にいかがでしょうか。

お願いいたします。

【林委員】

全教科きめ細やかな丁寧な調査研究で、これを取りまとめられた事務局も大変だったのではないかと思うのですが、読みづらいなと思ったところがありまして、社会-4、5、6ページ辺りですけれども、倍率が他教科とちょっと違って、小さいような、枠いっぱいに入っていて、私が読みづらく感じました。スペースとかページ数の関係で、制限とかがあるのかもしれませんが、教科書採択の会議は、一般の方とか色々な方が参加されますので、より有効に活用されるようにもし可能であれば、冊子自体の見やすさにも御配慮いただけないかなというお願いです。

【事務局（山田指導主事）】

ありがとうございます。可能な限り対応したいと思います。

【浄泉会長】

よろしくお願いいたします。

他にはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日皆様からいただきました御意見等につきましては、事務局で再度検討していただき、適宜修正等を反映していただくことを前提として、承認をいただきたいと思います。

それでは、御承認いただける方は拍手をお願いいたします。〈拍手多数〉

はい、ありがとうございました。拍手多数と認めます。よって本件は承認されました。御承認いただきありがとうございました。

本日御承認いただいた諮問事項の7に関しましては、後日、会長の私から答申を作成して、教育委員会へ提出したいと考えておりますが、それでよろしいでしょうか。〈賛同多数〉

それでは、了承いただきましたので、そのようにさせていただきますと思います。

その他として、皆様方から何かございますか。よろしいですか。

それでは、本当に皆様方には長時間にわたり、熱心に御審議いただきましたことを心より感謝申し上げます。御協力ありがとうございました。

これで私の役目は終了させていただきたいと思います。

では、進行を司会にお返しいたします。

【司会（水沢指導主事）】

浄泉会長ありがとうございました。

委員の皆様におかれましては、長時間にわたり、熱心な御審議、本当にありがとうございました。

以上で、本日の議事については終了いたしました。

それでは、事務局より事務連絡をいたします。

【事務局（山田指導主事）】

本日はどうもありがとうございました。

私からは2点お願いをいたします。1点目は、本日の議事についてです。本県では、静謐な採択環境の確保のため、教科書の採択期間が終了する8月31日（木）までは、本日の議事及び専門調査員の氏名等の公開は控えております。従いまして、皆様方にも御理解、御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

2点目は、次回の御連絡です。第3回の選定審議会は、7月12日（水）、14時から、場所はこちら、県立総合教育センター3階304研修室を予定しております。

議題としましては、諮問事項の(8)「県立特別支援学校の小学部及び中学部、並びに県立中等教育学校前期課程において使用する教科用図書の採択について」です。

期日近くなりましたら御案内いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。私からは以上です。

【司会（水沢指導主事）】

最後に、長田 子ども教育支援課長から、閉会の御挨拶を申し上げます。

【長田子ども教育支援課長】

本日は、長時間にわたりまして、慎重に御審議をいただきまして、誠にありがとうございました。

また、専門調査員及び担当の指導主事、本当に温かいねぎらいのお言葉をかけていただきまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

時間をすでに超過しているところでございますけれども、一言、御挨拶をさせていただきたいと思っております。

県教育委員会には、県内の義務教育諸学校において使用する教科用図書採択の適正な実施を図るために、適切な指導、助言または援助を行うことが義務づけられております。

そのための重要な役割を担っていただくのが本審議会であります。今回については、諮問事項の7「令和6年度使用小学校、義務教育学校の前期課程教科用図書選定に係る調査研究資料について」御審議をいただきました。

この調査研究資料につきましては、冒頭事務局より御説明させていただきました通り、6月13日（火）に行われます、6月の県教育委員会の定例会において付議をいたします。

本日いただきました貴重な御意見を基に、事務局で検討をさせていただきます。ただ、すべての種目に係る部分につきましては、今回、反映できるかも含めて、検討をさせていただきたいと思っております。

また、本調査資料につきましては、神奈川県調査資料というところが、1つ特徴的なところというふうに我々は捉えております。ですので、神奈川の教育ビジョンという項目を立てさせていただいておりますし、先ほど話題にさせていただいております、神奈川県参考ということですが、神奈川県にかかる文章や画像というところも挙げさせていただいております。ですので、それが神奈川県の特徴だと思っております。

ただ、参考という部分につきましては、あくまで参考でございますので、できる限り扱っていただいているものを取り上げたいと考えております。

その中でも精査は必要だとは考えておりますけれども、その部分につきましては、先ほどの二次元コードは回答させていただいた通りですけれども、事務局でも改めて検討、協議をさせていただきたいと考えています。これらのことも含めまして、教育委員会定例会に付議するに当たりまして、万全を期すために、この後再度事務局で複数回、チェック確認をさせていただきます。

その際ですね、万が一、新たに修正箇所等が出ました場合につきましては、その修正の程度がごく軽微な場合については大変恐縮ですが、事務局に御一任いただけますよう、お願いできればと思っておりますが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

ただ、大幅な修正等につきましては、各委員の皆様にご連絡をさせていただきますので、その際は、また御協力のほど、御承知おきいただければと思っております。

次回ですけれども、7月12日（水）の第3回の選定審議会においては、諮問事項(8)「県立特

別支援学校の小学部及び中学部、並びに県立中等教育学校の前期課程において使用する教科用図書の採択について」、御審議をいただくこととなります。

次回で、今年度の最後の選定審議会の予定となりますので、こちらも引き続きよろしく願いいたします。

長くなりましたが、本日は1日、長時間に渡りまして誠にありがとうございました。

【司会（水沢指導主事）】

以上で閉会といたします。

委員の皆様、本当にありがとうございました。お忘れ物のないようお気をつけてお帰りくださいませ。本日はお疲れ様でした。（終了）